

都市における人の動き

— 平成 17 年全国都市交通特性調査集計結果 2 —

平成 20 年 3 月

国土交通省 都市・地域整備局

都市計画課 都市交通調査室

全国都市交通特性調査

はじめに

「全国都市交通特性調査」は、全国の都市において、人々が、どのような目的で移動しているか、どのような交通手段を利用しているかなど、人の動きからみた交通実態を調査するものです。

全国の都市の状況を把握するため、62都市を抽出して、1都市当たり500世帯を対象に調査して、約3万2千世帯から回答をいただきました。これらを、都市規模別に集計するとともに、個人属性等で区分して加重平均した結果をもとに、全国の都市の数値を推計しています。

過去、昭和62年、平成4年、平成11年の3回調査（「全国都市パーソナリティ調査」の名称で実施）しており、今回は第4回目の調査になります。また、初めて町村（60町村）も対象に加えて、全国の都市交通特性を把握できるようにしました。すでに、基礎集計した結果をパンフレット「都市における人の動き」としてとりまとめ公表しております。

(<http://www.mlit.go.jp/crd/tosiko/zpt/index.html>)

今般、引き続き、分析を行った結果をとりまとめましたので公表致します。

目次

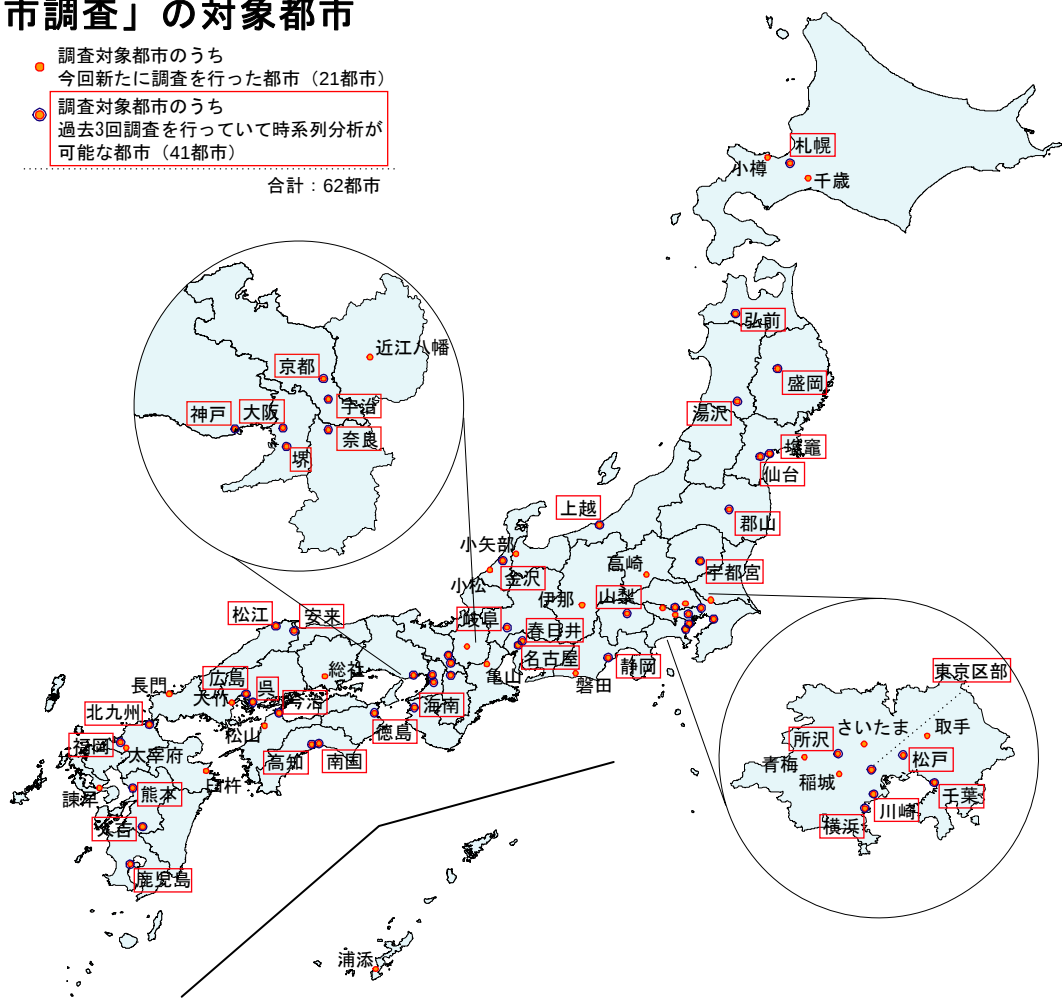
調査の概要	1
1. 男女別の交通行動特性分析	3
2. 高齢者の交通行動特性分析	9
【意識調査の集計結果】	
3. 高齢者と自動車利用	13
4. 地球環境と自動車利用	18
5. 居住地選択	19
参考：交通実態調査票（世帯票・個人票）	21
：意識調査票（A票・B票）	23

■調査の概要

「都市調査」の対象都市

- 調査対象都市のうち
今回新たに調査を行った都市（21都市）
- 調査対象都市のうち
過去3回調査を行っていて時系列分析が
可能な都市（41都市）

合計：62都市



○ 類型別調査対象都市

都市類型			調査対象都市
a	三大都市圏	中心都市	さいたま市、千葉市、東京区部、横浜市、川崎市 名古屋市、京都市、大阪市、神戸市
b		周辺都市※1	取手市、所沢市、松戸市、稲城市、堺市、奈良市
c		周辺都市※2	青梅市、岐阜市、春日井市、亀山市、近江八幡市、宇治市
d	地方中枢都市圏	中心都市	札幌市、仙台市、広島市、北九州市、福岡市
e		周辺都市	小樽市、千歳市、塩竈市、呉市、大竹市、太宰府市
f	地方中核都市圏 (中心都市 40 万人以上)	中心都市	宇都宮市、金沢市、静岡市、松山市、熊本市、鹿児島市
g		周辺都市	小矢部市、小松市、磐田市、総社市、諫早市、臼杵市
h	地方中核都市圏 (中心都市 40 万人未満)	中心都市	弘前市、盛岡市、郡山市、松江市、徳島市、高知市
i		周辺都市	高崎市、山梨市、海南市、安来市、南国市、浦添市
j	地方中心都市圏 その他の都市	—	湯沢市、伊那市、上越市、長門市、今治市、人吉市

注) 三大都市圏の周辺都市は、以下の定義で都市類型 b と都市類型 c に分けている。

中心からの距離			
都市圏			
	東京	京阪神	中京
※1 都市類型b	40km未満	30km未満	-
※2 都市類型c	40km以上	30km以上	全域

調査の目的

全国都市交通特性調査は、交通の主体である人（パーソン）の動き（トリップ）を調査することにより、全国の都市及び町村で、どのような人がどのような目的、交通手段で動いたかについて、調査日1日のすべての動きを捉えるものです。

今回の調査は、全国の都市と町村の交通実態を捉えるとともに、過去の調査とあわせて、交通実態の変化を把握することを目的としています。

調査の対象

○都市調査：平成17年の調査対象都市は62都市です。調査の対象者は、調査対象都市に居住する、各都市500世帯の5才以上の人です。

○町村調査：調査対象町村は60町村です。調査の対象者は、調査対象町村に居住する、各町村50世帯の5歳以上の人です。

調査時期

調査対象日は、平成17年の10月、11月の平日・休日の各1日です。調査をこの時期にしたのは、都市圏パーソントリップ調査同様、1年の中の平均的な

交通特性を把握するためです。平日は火、水、木曜日のいずれか、休日は連休となっていない日曜日を対象としました。

調査内容

○本冊子の最後に掲載している調査票により、1日の行動内容について調査しています。さらに、都市調査の対象都市において、今後の施策の参考となる事項についても「都市交通に関する意識調査」としてアンケート調査を実施しました。（意識調査はA、B票2種類のいずれかを配布・回答）

調査の方法

○都市調査：住民基本台帳から抽出した世帯に対し、調査員が家庭を訪問して調査を依頼し、後日再訪問して調査票を回収しました。

○町村調査：住民基本台帳から抽出した世帯に対して、調査票を郵送して調査を依頼し、郵送によって調査票を返送していただきました。

データ処理について

サンプル調査であることから、サンプルの特性に偏りがみられるため、個人属性等で加重平均をして

用語の説明

○トリップ

人がある目的をもってある地点からある地点へ移動した単位をトリップといい、目的が変わるごとにトリップもかわります。1回の移動でいくつかの交通手段を乗り換えても1トリップと数えます。目的が変わると2番目のトリップとなります。

○1人あたりトリップ数

ある人が1日のうちで目的を持って動く回数。

・グロス集計

1人あたりトリップ数について調査対象者総数（外出者＋非外出者）1人あたりでみたもの。

・ネット集計

1人あたりトリップ数について外出者1人あたりでみたもの。

○1トリップあたりの所要時間（平均トリップ長）

1トリップに要する所要時間または移動距離の平均。

○目的の種類

人が移動するときの目的をさします。本冊子で用いている目的は次のような内容になっています。

通勤：自宅から勤務先へ

通学：自宅から通学先へ

業務：自宅から業務先へ

勤務先から業務先へ

業務先から勤務先へ

業務先から業務先へ

私事：買物等の上記以外の目的

帰宅：自宅へ

○代表交通手段

1つのトリップがいくつかの交通手段で成り立っているとき、このトリップで利用した主な交通手段を「代表交通手段」といいます。主な交通手段の集計上の優先順位は、鉄道→バス→自動車→二輪車→徒歩の順となっています。下図のトリップの例では、鉄道が代表交通手段となります。

本冊子での交通手段は「代表交通手段」をさします。

鉄道は、JR、私鉄、地下鉄、路面電車、モノレール、新交通システムをさします。

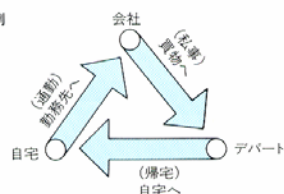
なお、本冊子では、交通手段別のトリップ数の割合を「利用率」と表現しています。（交通手段別のトリップ数の割合は「分担率」「交通手段構成比」などと表現することもあります）。

トリップの例

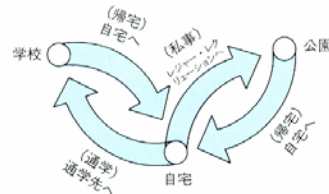


1日の動き

■サラリーマンの例
(3トリップ)



■子供の例
(4トリップ)



1. は 41 都市の集計

(昭和 62 年、平成 4 年、平成 11 年、平成 17 年の 4 時点での比較)

1. 男女別の交通行動特性分析

[1] 男性のトリップ原単位

全国の男性のトリップ原単位は、平日 2.35 です。

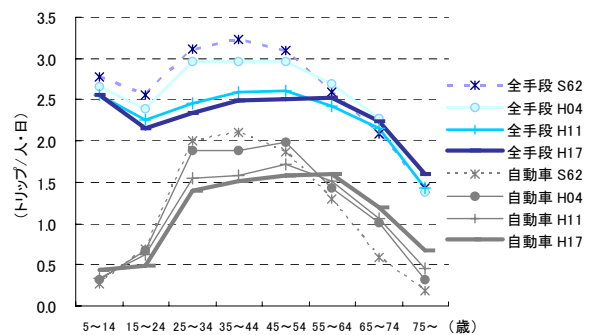
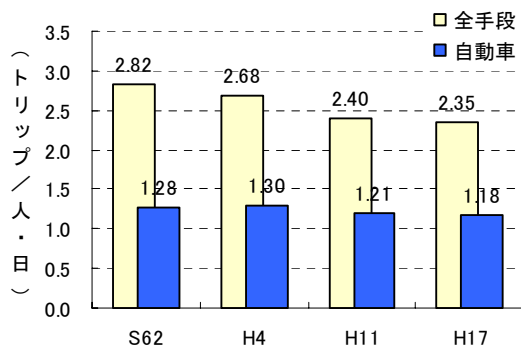
このトリップ原単位は経年的に減少してきましたが、近年下げ止まる傾向です。

- 全国の男性の自動車原単位は、S62 から H4 で 1.01 倍、H4 から H11 で 0.93 倍、H11 から H17 で 0.98 倍となっています。
- 自動車の利用は、全国の男性の 54 歳以下で、経年的に減少しています。
- 男性は、三大都市圏・地方都市圏とも 54 歳以下で、トリップ原単位が自動車利用も含めて減少していましたが、近年下げ止まる傾向です。

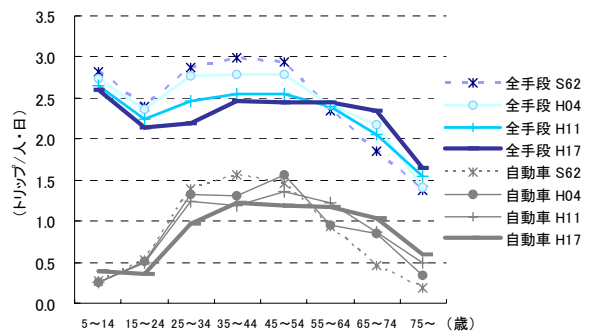
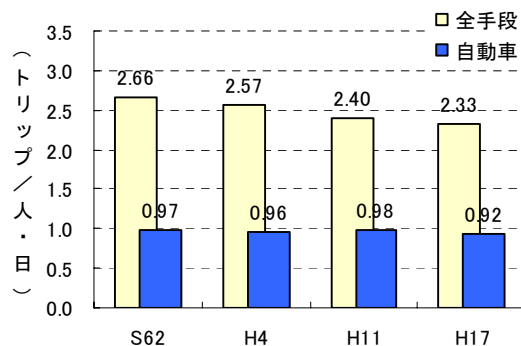
男性のトリップ原単位 (トリップ数/人・日)

男性 (平日)

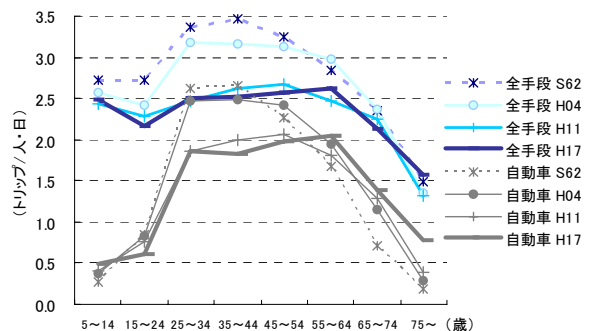
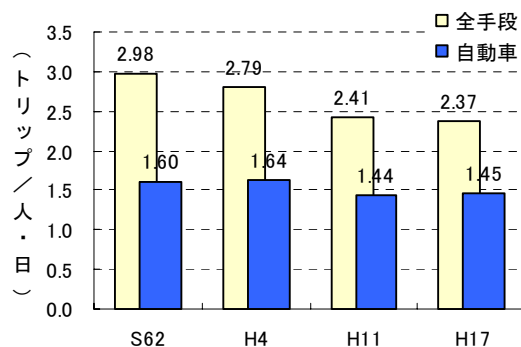
全国



三大都市圏



地方都市圏

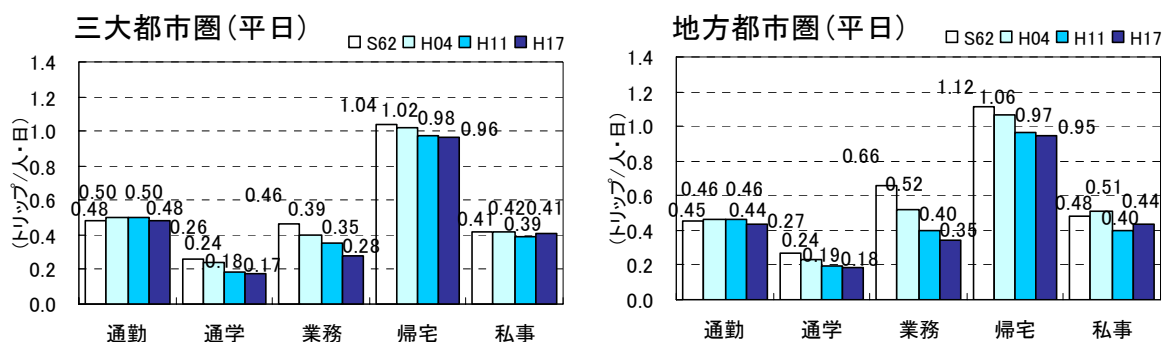


[1] 男性のトリップ原単位

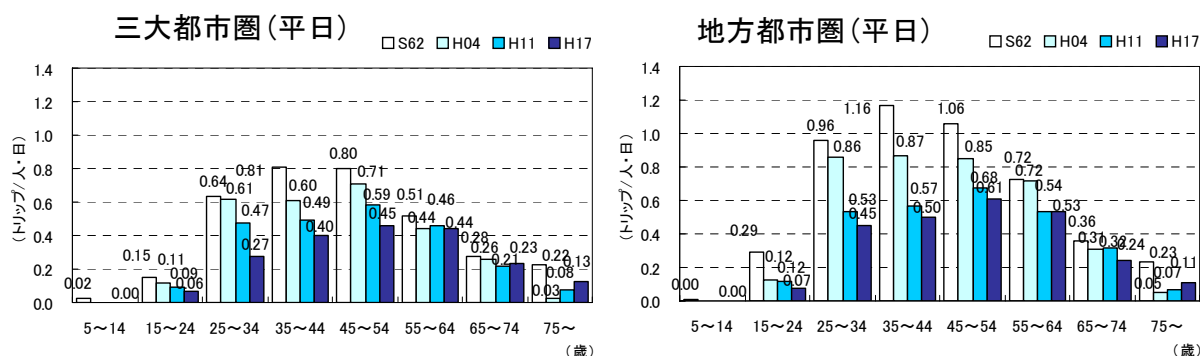
トリップ原単位は、通学・業務において経年的な減少が続いています。特に、業務目的の減少が目立っています。

- 業務目的を年齢階層別にみると、25～54歳の年齢階層において減少しています。
- 業務目的の内容を詳細に分類した項目でみると「販売・配達・仕入・購入先」、「打ち合わせ・会議・集金・往診」の目的が大きく減少しています。

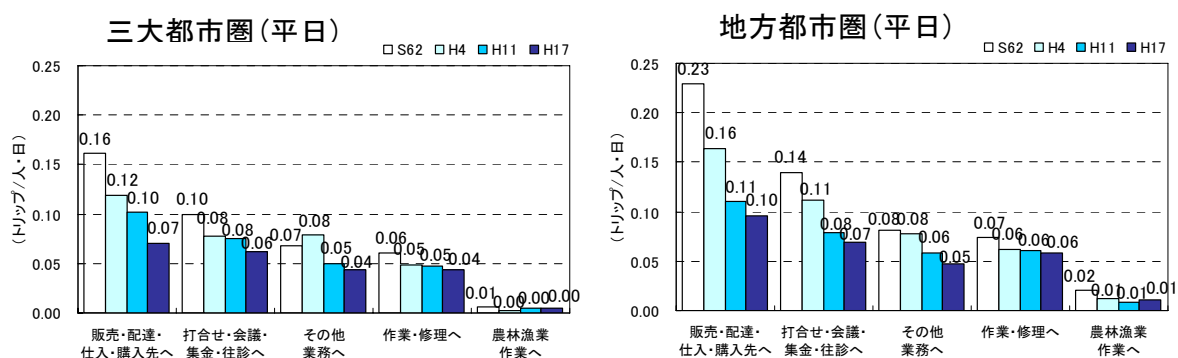
男性・目的別トリップ原単位（全手段）（トリップ数/人・日）



男性・年齢階層別業務目的トリップ原単位（全手段）（トリップ数/人・日）



男性・業務(細分類)目的トリップ原単位（全手段）（トリップ数/人・日）



[2] 女性のトリップ原単位

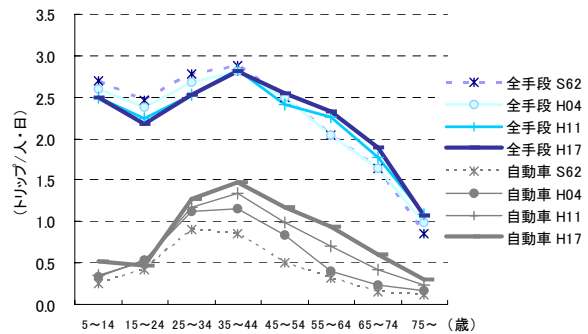
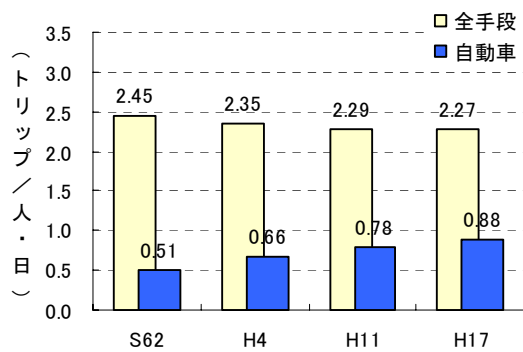
女性については、自動車利用のトリップ原単位が、三大都市圏においては微増傾向、地方都市圏においては大きく増加傾向にあります。

- 全国の女性の自動車原単位は、S62 から H4 で 1.31 倍、H4 から H11 で 1.18 倍、H11 から H17 で 1.13 倍となっています。
- 三大都市圏・地方都市圏ともに 25 歳以上で、自動車利用のトリップ原単位が増加しています。
- 三大都市圏のトリップ原単位は減少傾向ですが、地方都市圏のトリップ原単位は、平成 11 年から平成 17 年において、微増しました。

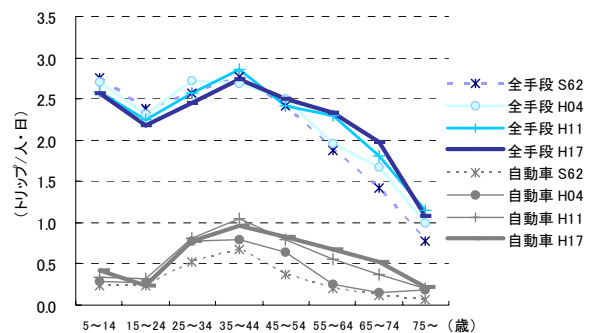
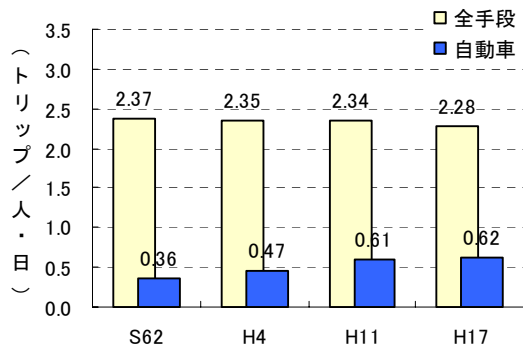
女性のトリップ原単位（トリップ数/人・日）

女性（平日）

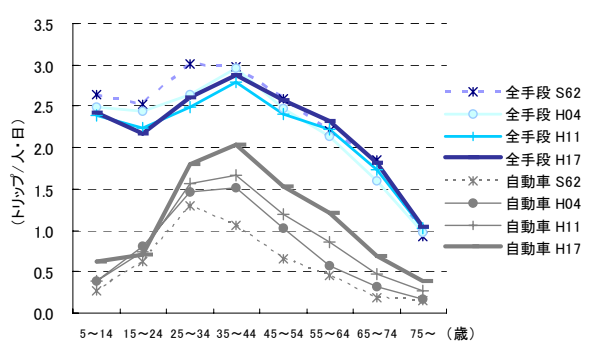
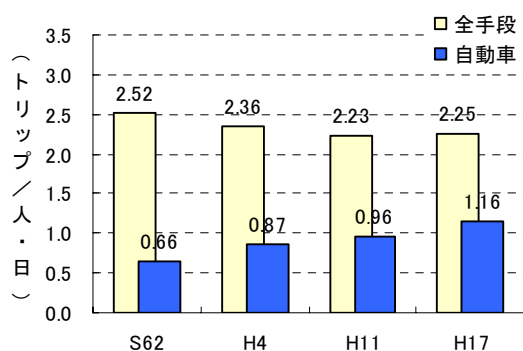
全国



三大都市圏



地方都市圏

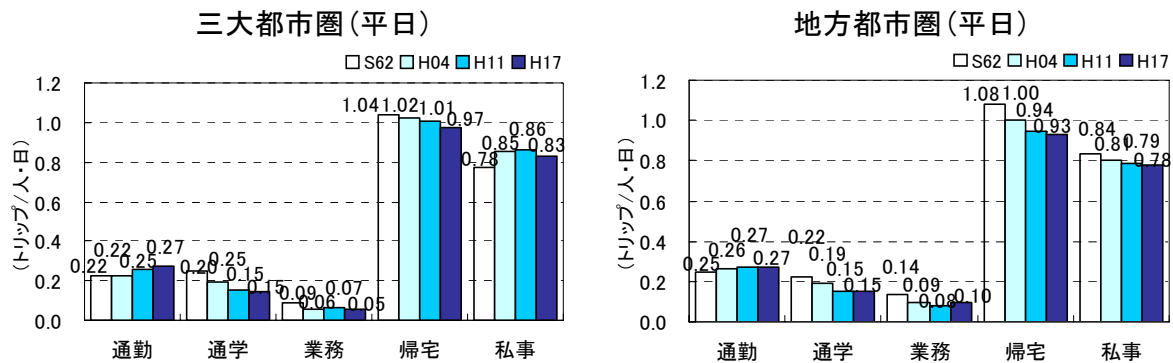


[2] 女性のトリップ原単位

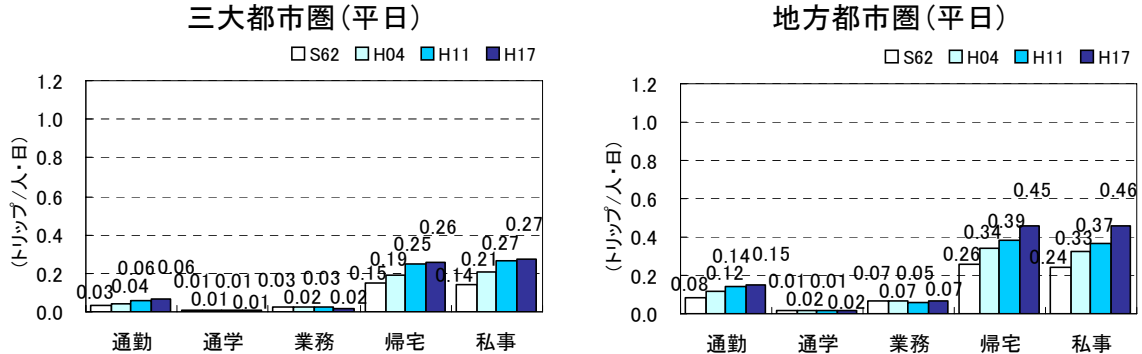
女性のトリップ原単位を目的別にみると、三大都市圏で通勤目的のトリップ原単位が微増している以外は、微減もしくは横ばいとなっています。

- 三大都市圏・地方都市圏ともに私事目的の自動車原単位が増加しています。
- 私事目的の内容を詳細に分類した項目でみると、三大都市圏・地方都市圏とも、「買物」「その他私用」を目的とする自動車のトリップ原単位が増加しています。

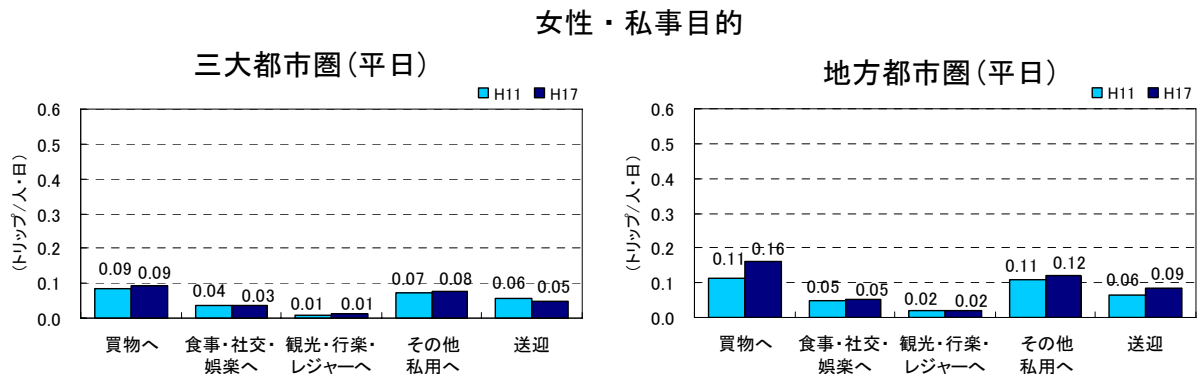
女性・目的別トリップ原単位（全手段）（トリップ数/人・日）



女性・目的別トリップ原単位（自動車）（トリップ数/人・日）



女性・私事(細分類)目的トリップ原単位（自動車）（トリップ数/人・日）

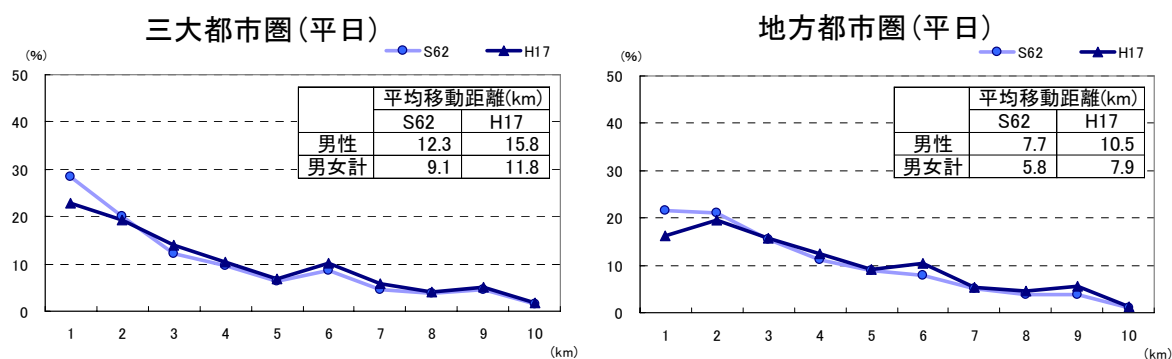


[3] 男性のトリップ長

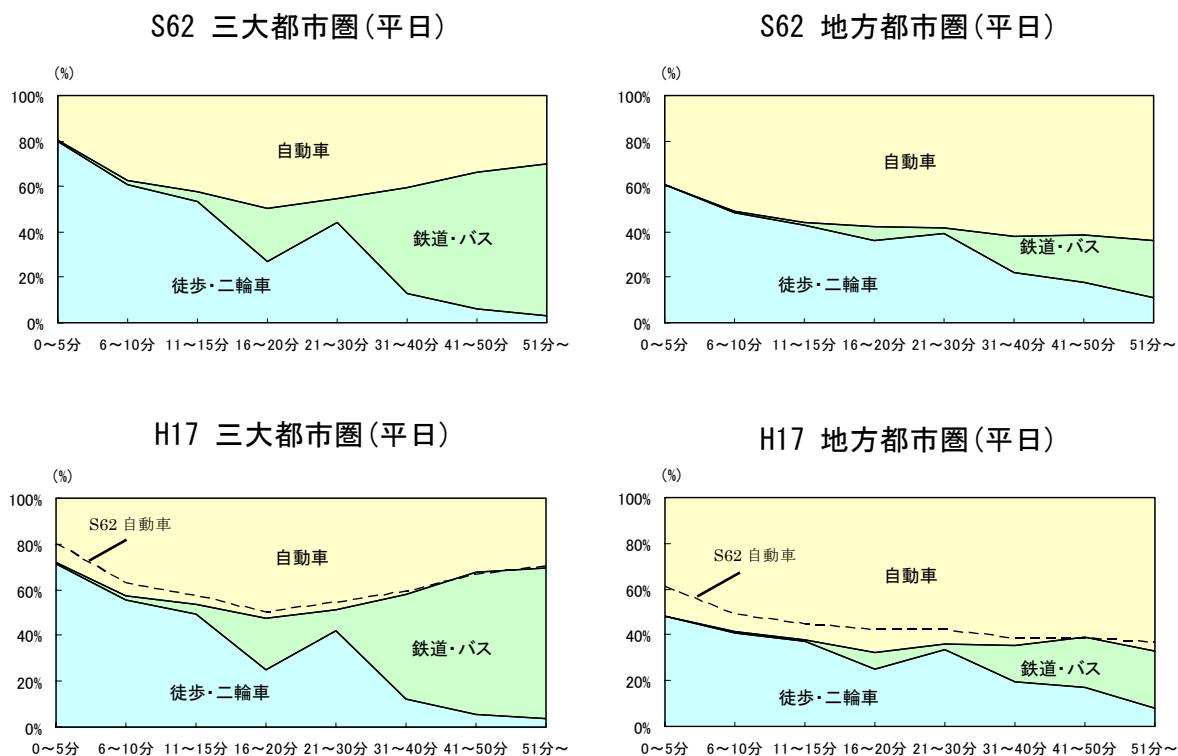
男性については、三大都市圏・地方都市圏ともに1km未満のトリップの割合が大きく減少しています。

- 三大都市圏・地方都市圏とも、移動距離2km以上のトリップの割合が増加する傾向にあります。
- 三大都市圏・地方都市圏とも、移動時間が短いほど自動車利用率が大きく増加する傾向にあります。

トリップ長別構成比（移動距離・全目的・全手段）



トリップ長別代表交通手段利用率（所要時間・全目的）

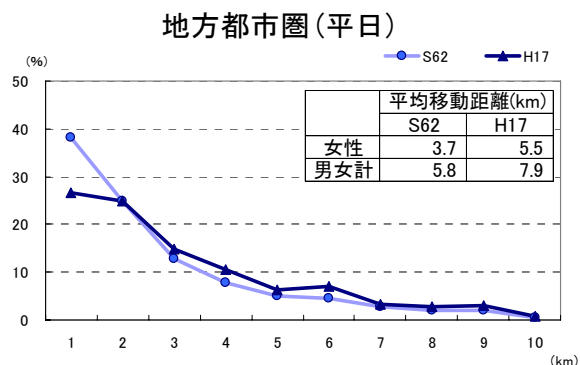
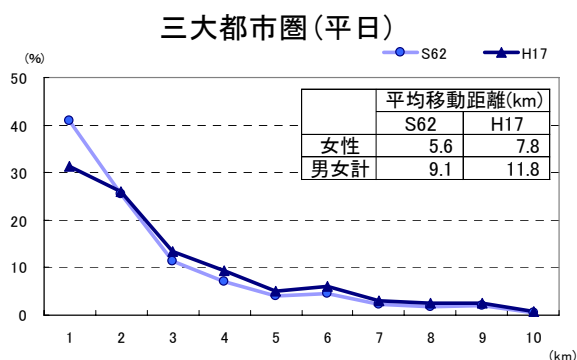


[4] 女性のトリップ長

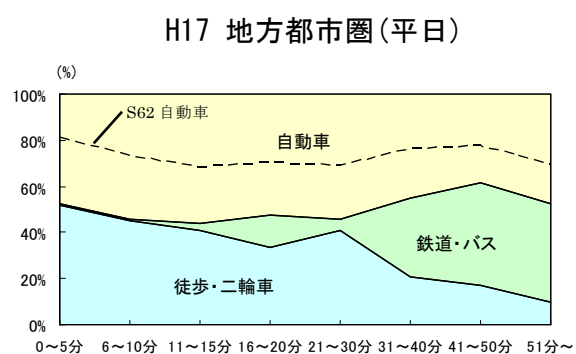
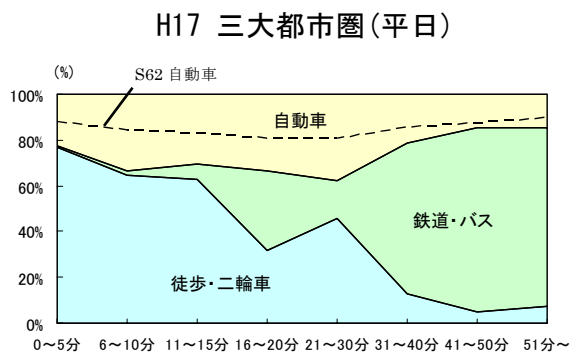
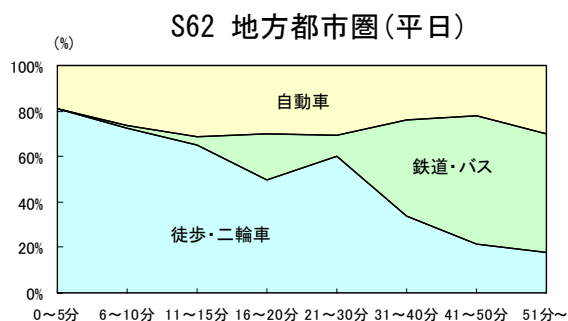
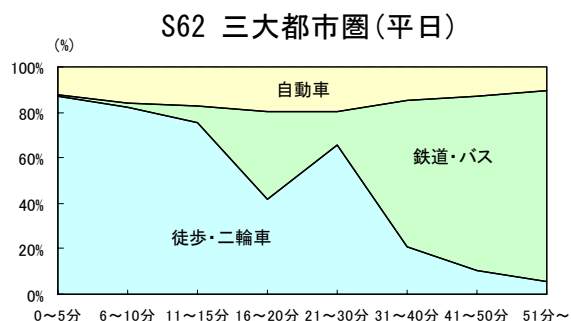
女性についても、男性以上に移動距離 1km 未満のトリップの割合が大きく減少しています。

- 男性と同様、昭和 62 年から平成 17 年にかけて、トリップ長が 1km の短いトリップの割合が低くなっていますが、その差は 10% となっており、男性の 5% に比べて大きく低下しています。
- 昭和 62 年から平成 17 年にかけて、女性の自動車利用率は、男性の場合と比較して大幅に増加しています。

トリップ長別構成比（移動距離・全目的・全手段）



トリップ長別代表交通手段利用率（所要時間・全目的）



2. は 41 都市の集計

(昭和 62 年、平成 4 年、平成 11 年、平成 17 年の 4 時点での比較)

2. 高齢者の交通行動特性分析

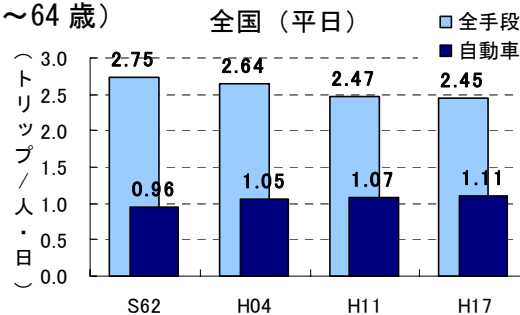
[1] 高齢者のトリップ原単位と交通目的

高齢者のトリップ原単位は経年的に全国で微増しています。また、高齢者の自動車のトリップ原単位は全国で一貫して増加しています。

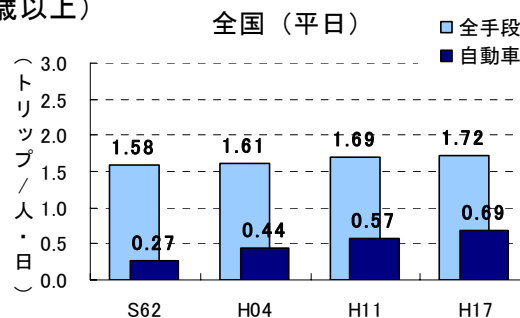
- 全国の自動車原単位の H11 から H17 の伸びは、非高齢者（65 歳未満）が 1.03 倍であるのに対し、高齢者（65 歳以上）は 1.20 倍と高くなっています。

年齢階層別代表交通手段別トリップ原単位（全目的）

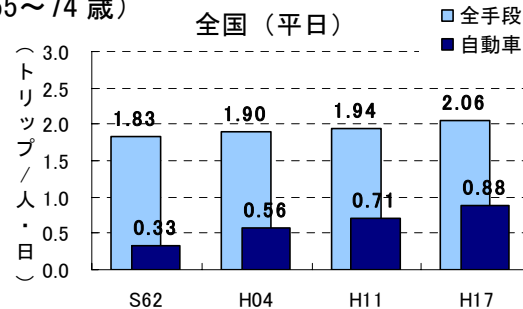
非高齢者（5～64 歳）



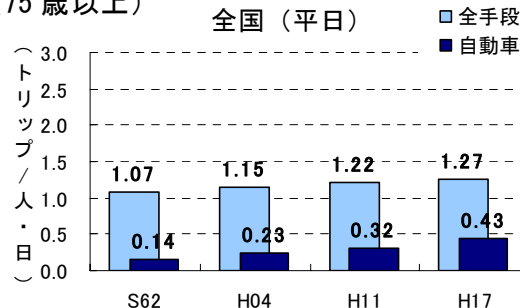
高齢者（65 歳以上）



前期高齢者（65～74 歳）



後期高齢者（75 歳以上）



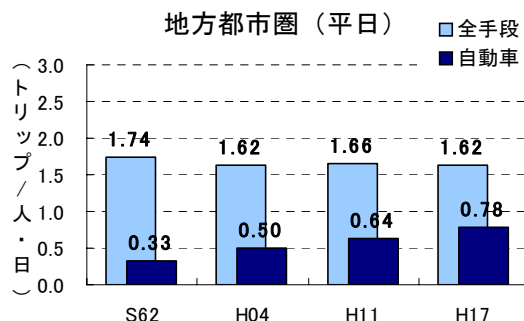
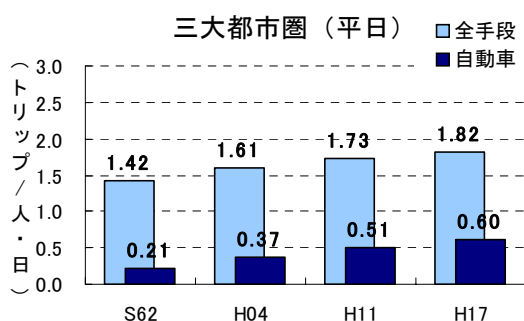
[1] 高齢者のトリップ原単位と交通目的

高齢者のトリップ原単位は経年的に三大都市圏で微増、地方都市圏で横ばいです。
高齢者の自動車のトリップ原単位は、三大都市圏・地方都市圏ともに一貫して増加しています。

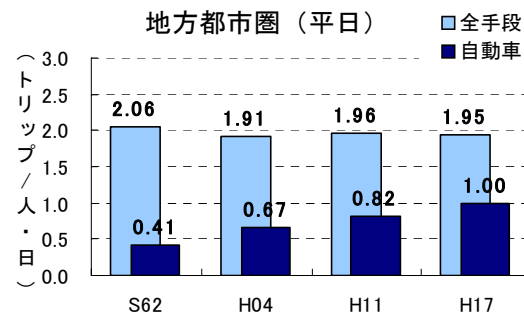
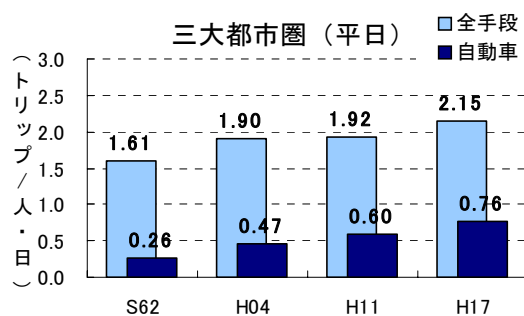
- 三大都市圏では、高齢者のトリップ原単位は、自動車原単位の増加に応じて、増えています。
- 地方都市圏では、高齢者のトリップ原単位は横ばいで、他の交通手段から自動車の利用に変わっています。

年齢階層別代表交通手段別トリップ原単位（全目的）

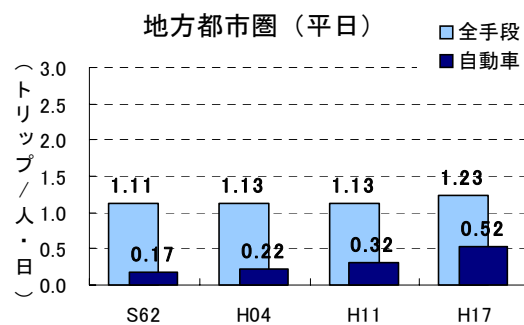
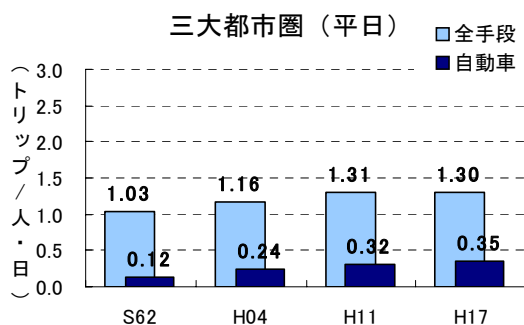
高齢者（65歳以上）



前期高齢者（65～74歳）



後期高齢者（75歳以上）



[1] 高齢者のトリップ原単位と交通目的

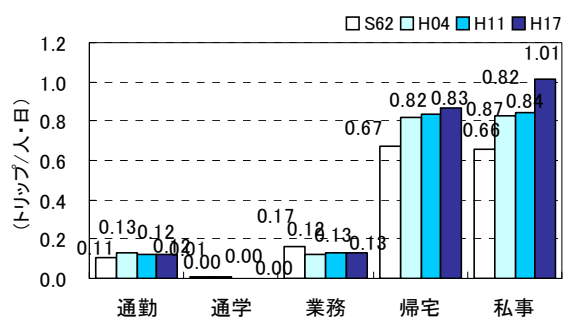
前期高齢者の目的別トリップ原単位は、三大都市圏・地方都市圏ともに私事目的が増加しています。

- 三大都市圏の後期高齢者は、H11 まで私事目的のトリップ原単位が増加してきましたが、H17 には減少しています。
- 地方都市圏では、前期高齢者・後期高齢者ともに私事目的のトリップ原単位は微増しています。

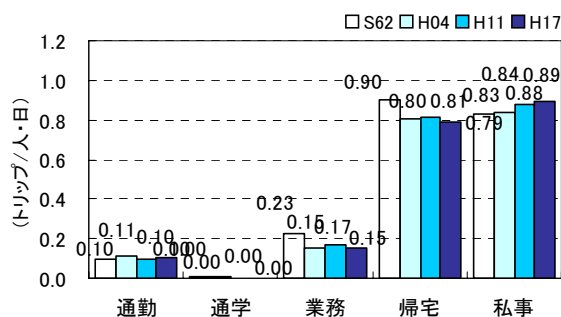
目的別トリップ原単位（全手段）

前期高齢者 65～74 歳

三大都市圏(平日)

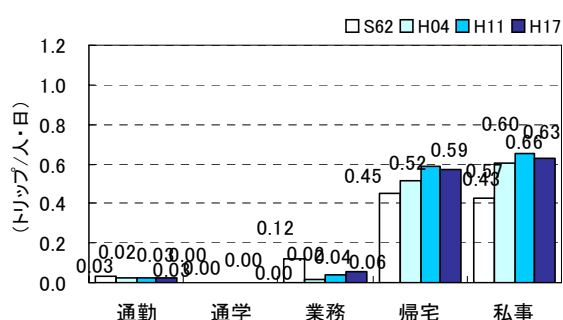


地方都市圏(平日)

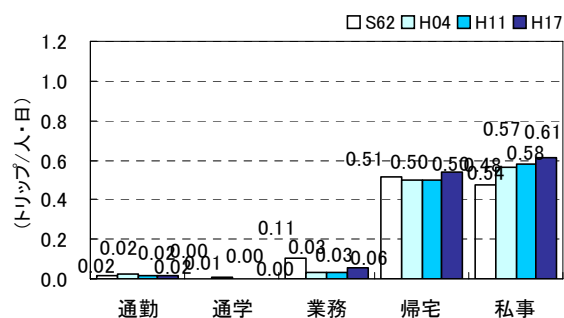


後期高齢者 75 歳以上

三大都市圏(平日)



地方都市圏(平日)



[1] 高齢者のトリップ原単位と交通目的

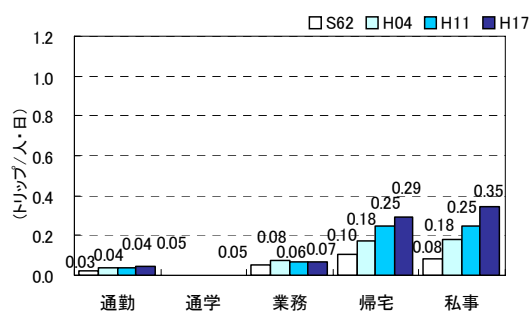
前期高齢者と地方都市圏の後期高齢者は、私事目的において自動車原単位が増加しています。

- 前期高齢者では、S62 から H17 において三大都市圏では約 2.8 倍、地方都市圏では約 3 倍の伸びとなっています。
- 前期高齢者・後期高齢者ともに免許保有率は上昇しています。

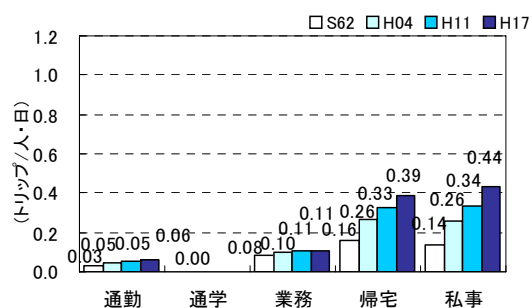
目的別トリップ原単位（自動車）

前期高齢者 65～74 歳

三大都市圏(平日)

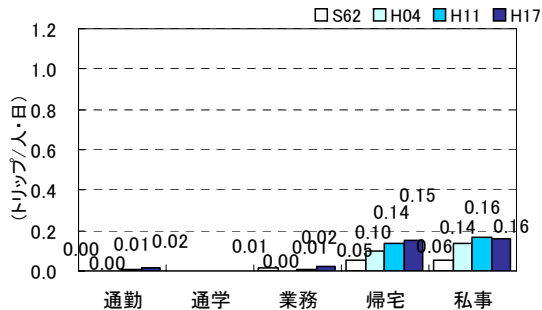


地方都市圏(平日)

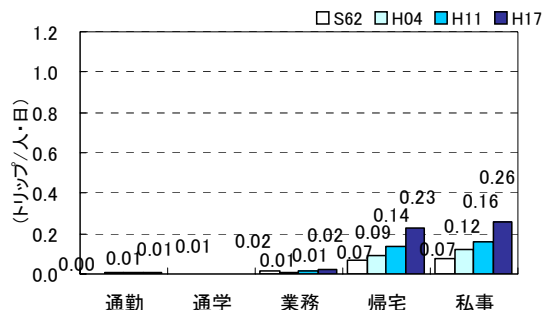


後期高齢者 75 歳以上

三大都市圏(平日)

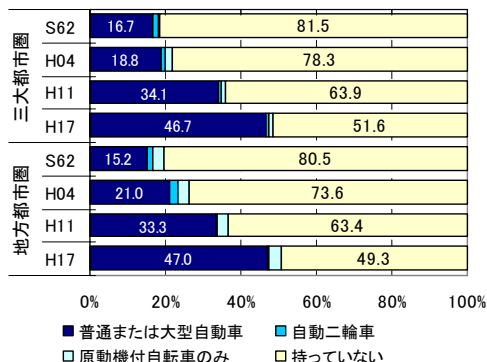


地方都市圏(平日)

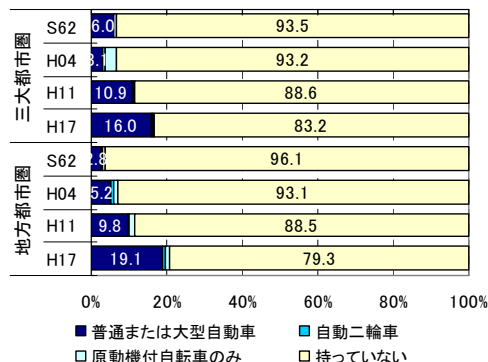


年齢階層別免許保有率

前期高齢者



後期高齢者



■全国都市交通特性調査の集計結果を示しています。

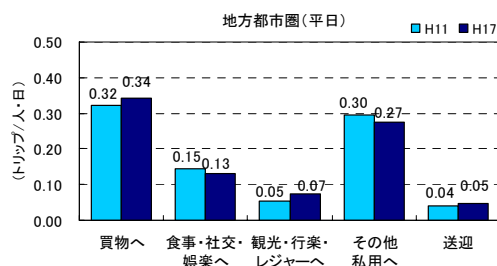
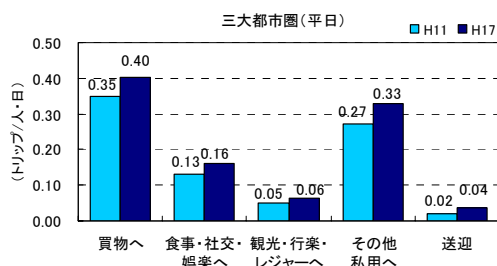
[1] 高齢者のトリップ原単位と交通目的

前期高齢者の買物目的トリップ原単位は、三大都市圏・地方都市圏ともに増加しています。

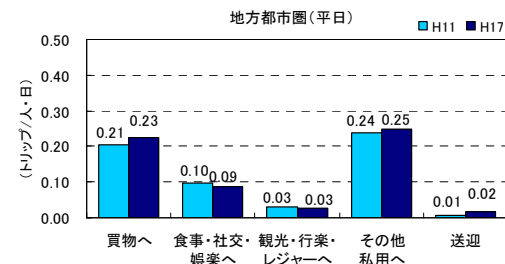
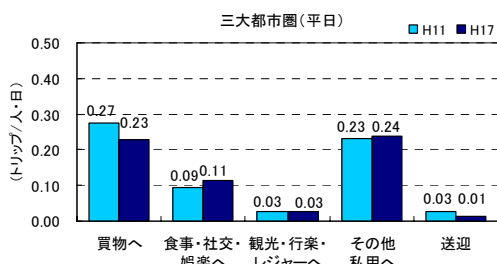
- 三大都市圏、地方都市圏ともに前期高齢者は、買物目的の自動車トリップ原単位が増加しています。
- 地方都市圏では、後期高齢者の買物目的の自動車トリップ原単位が H11 から H17 にかけて 2 倍程度増加しています。

私事目的(細分類)別トリップ原単位 (全手段)

前期高齢者 65～74 歳

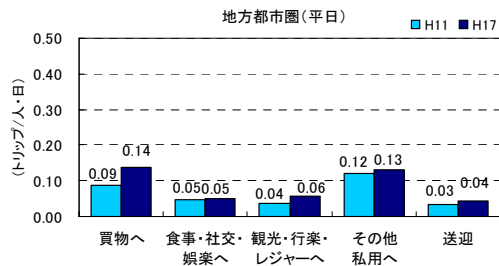
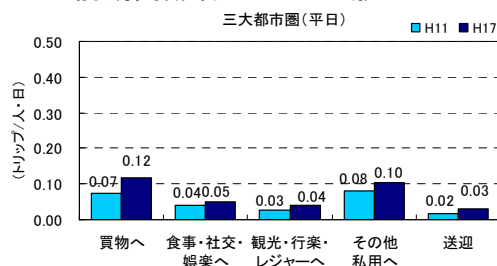


後期高齢者 75 歳以上

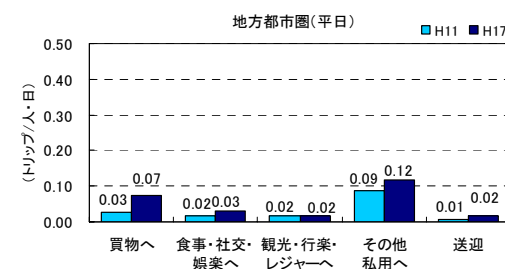
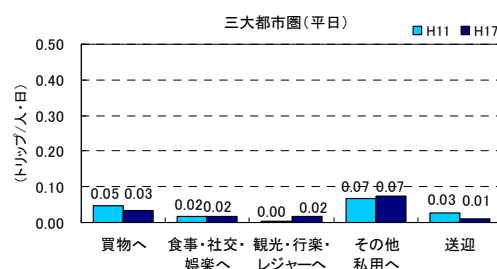


私事目的(細分類)別トリップ原単位 (自動車)

前期高齢者 65～74 歳



後期高齢者 75 歳以上



3. は62都市の集計

(平成17年の都市交通に関する意識調査からの集計結果)

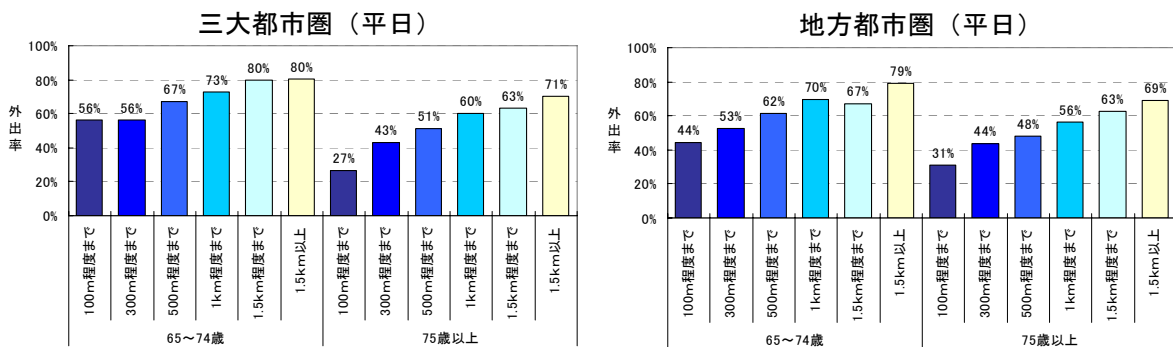
3. 高齢者と自動車利用

[1] 徒歩移動可能距離と交通特性

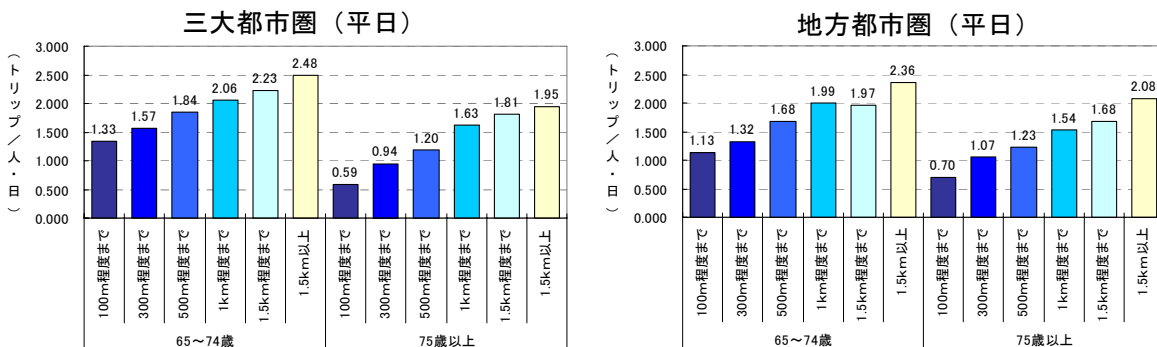
徒歩での移動が困難な人ほど外出率、原単位がともに低くなっています。

- 地方都市圏では、前期高齢者(65～74歳)・後期高齢者(75歳以上)ともに、歩行可能距離100m程度の人原単位は、歩行可能距離1.5km以上の人の半分以下と低くなっています。
- 高齢になるほど歩行可能な距離の短い人が多く、後期高齢者(75歳以上)は500m以上歩行できない人が5割近くいます。

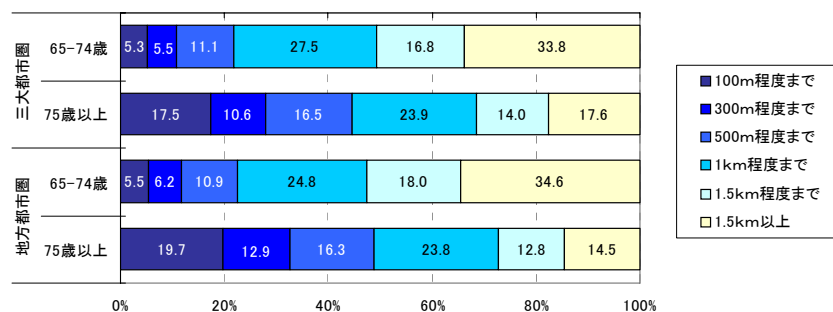
徒歩(補助器具を含む)移動可能距離別外出率



徒歩(補助器具を含む)移動可能距離別原単位



徒歩(補助器具を含む)移動可能距離別人数構成比



■ 全国都市交通特性調査の回答者の構成比を示しています。

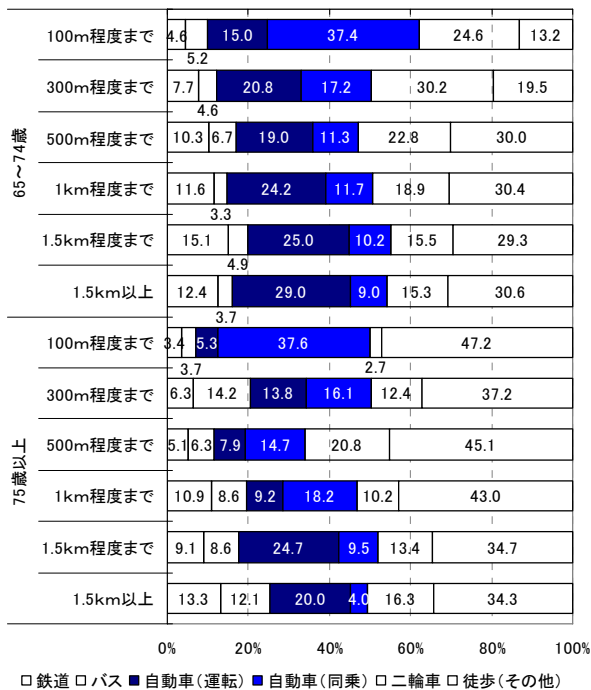
[1] 徒歩移動可能距離と交通特性

徒歩での移動が困難な人ほど自動車に同乗して移動する割合が高くなっています。

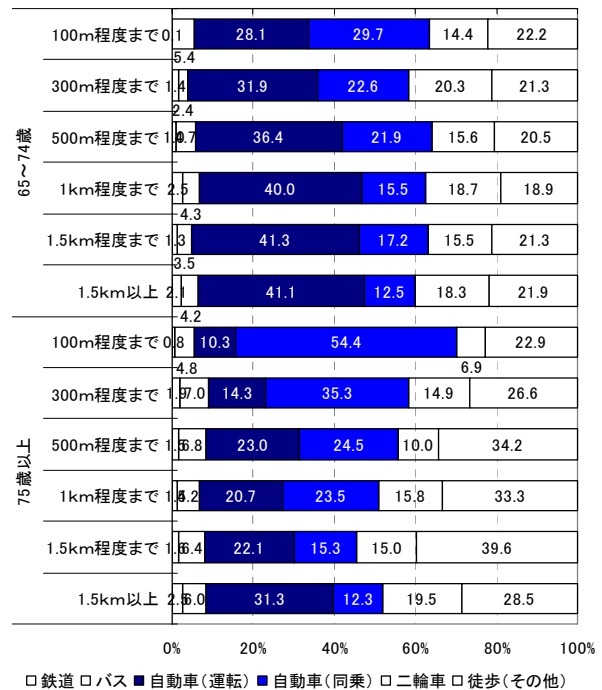
- 前期高齢者・後期高齢者ともに、歩行可能な距離が短い人ほど同乗の割合が高くなっており、特に地方都市圏の後期高齢者でその傾向が顕著となっています。

徒歩(補助器具を含む)移動可能距離別代表交通手段利用率

三大都市圏(平日)



地方都市圏(平日)



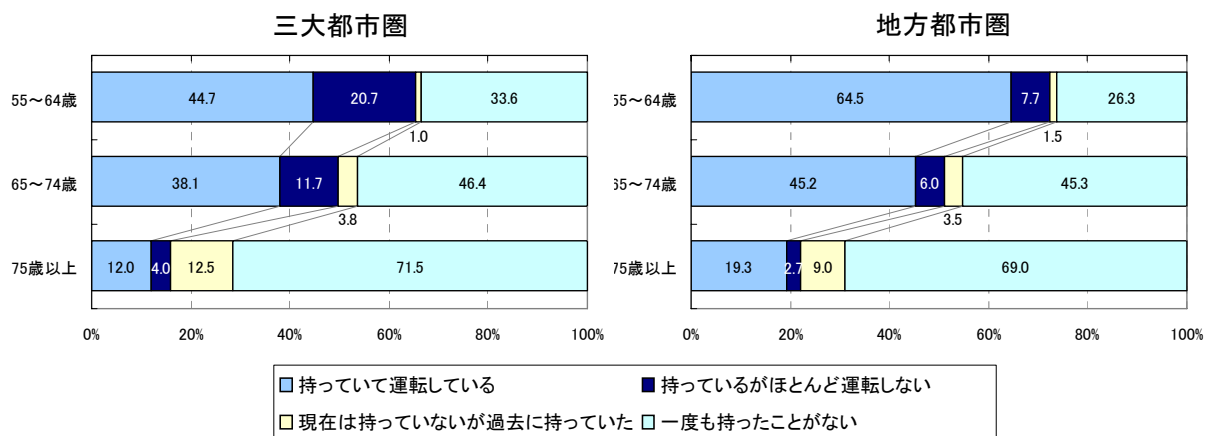
[2] 高齢者の免許保有と運転状況

過去に運転免許を持っていたが現在は持っていない人は、75歳以上で1割程度います。

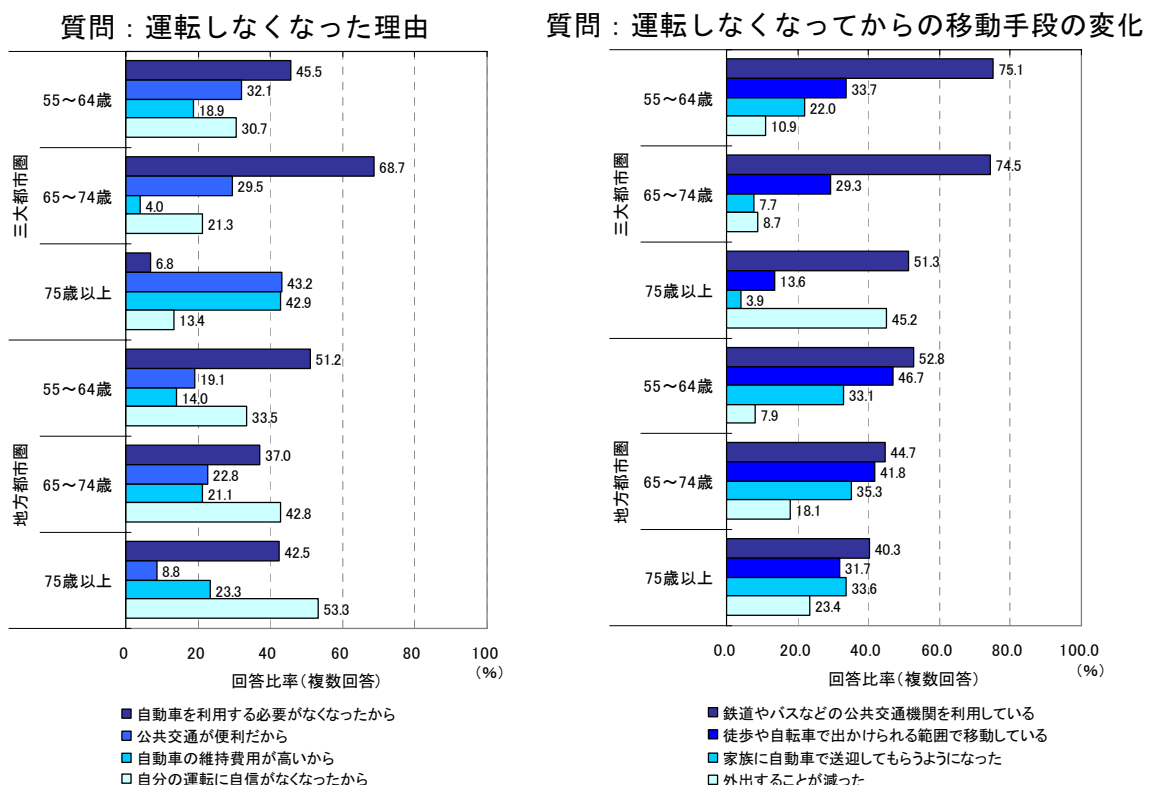
- 75歳以上で自動車の免許を保有している人は、三大都市圏で約16%、地方都市圏で約22%となっています。そのうち、三大都市圏で約2割、地方都市圏で約1割程度の人はほとんど運転していません。
- 75歳以上の人が運転をほとんどしなくなった理由としては、三大都市圏では「公共交通が便利だから」と回答した人が多く、地方都市圏では「自分の運転に自信がなくなったから」と回答した人が多くなっています。

高齢者の免許保有と運転状況

質問：現在自動車運転免許をお持ちですか。
(過去に自動車免許を持っていた人を含む)



『免許を持っているがほとんど運転しない人』についての質問



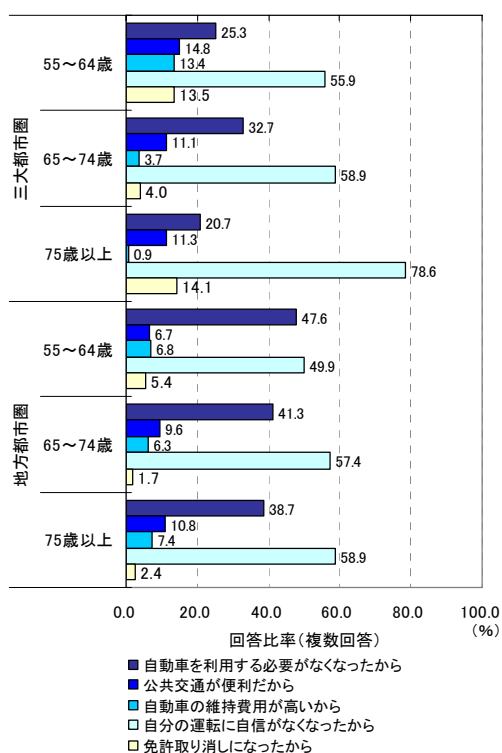
〔3〕高齢者の免許を持たなくなった理由とその後の移動状況

過去に免許を持っていた人の免許を持たなくなった理由は、三大都市圏・地方都市圏ともに高齢者では、「自分の運転に自信がなくなったから」となっています。

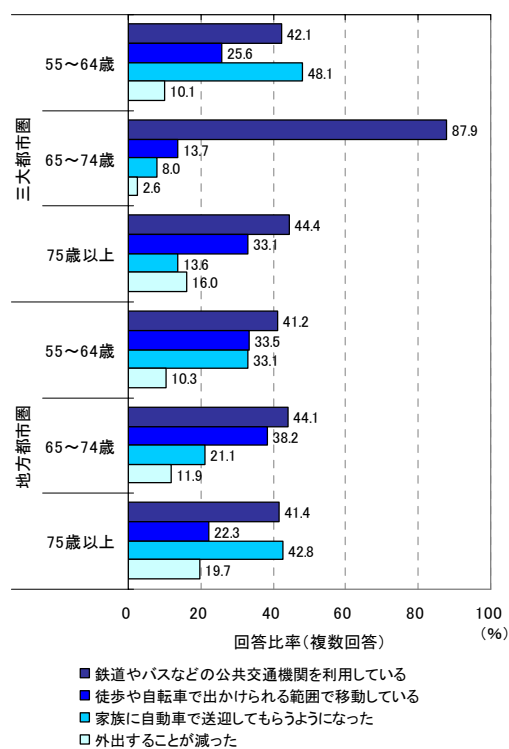
- 地方都市圏の高齢者の運転免許を持たなくなった理由は、「自分の運転に自信がなくなったから」という回答が最も多くなっていますが、「自動車を利用する必要がなくなった」と回答している割合も高くなっています。
- 運転免許を持たなくなってからの移動の変化は、三大都市圏の前期・後期高齢者とも「鉄道やバスなどの公共交通機関を利用している」と回答した割合が高くなっています。
- 地方都市圏の後期高齢者では、「家族に自動車で送迎してもらうようになった」と回答した人の割合も高くなっています。

『過去に運転免許を持っていた、現在持っていない人』についての質問

質問：運転免許を持たなくなった理由



質問：運転免許を持たなくなってからの移動の変化



4. は62都市の集計

(平成17年の都市交通に関する意識調査からの集計結果)

4. 地球環境と自動車利用

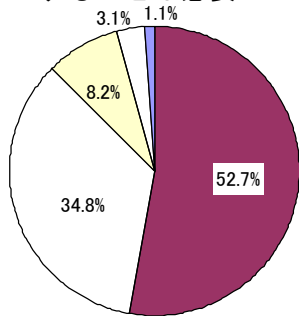
半数以上の方が自動車での移動をできれば控えた方が良く考えています。

自動車利用者の約3割が自動車利用を減らすことが可能と考えています。

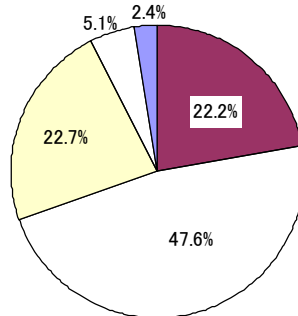
- 約88%の人が「1人ひとりが環境に配慮することが必要(「どちらかというと思う」を含む)」と考えていますが、「自動車の移動をできれば控えた方が良い」と考えている人(「どちらかというと思う」を含む)は、約55%です。
- 「自動車での移動を控えてみよう」と考えている人(どちらかというと思うと可能だと思うを含む)は、三大都市圏で約71%、地方都市圏で63%です。

環境意識別回答構成比 (全回答者を対象に質問)

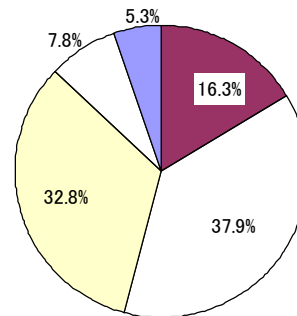
1人ひとりが環境に配慮することは必要か



自動車の移動は環境に悪い影響を及ぼすと思うか



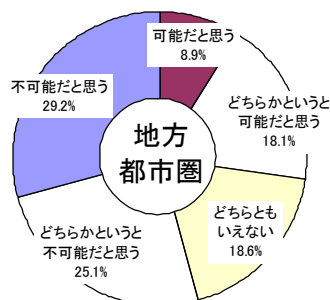
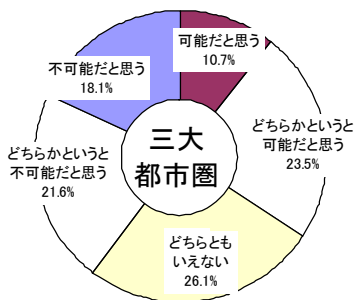
自動車の移動をできれば控えた方が良く思うか



■とてもそう思う □どちらかというと思う □どちらともいえない □どちらかというと思わない ■全然そう思わない

環境意識別回答構成比 (自動車を利用している方に質問)

自動車の移動を今より減らすことは可能か



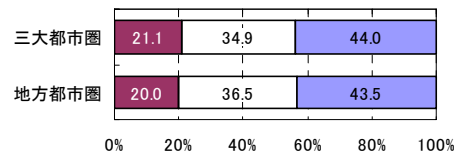
自動車の利用を減らすとしたら自動車の代わりに何を使うか

■使うようになる □少し使うようになる ■使うようにならない

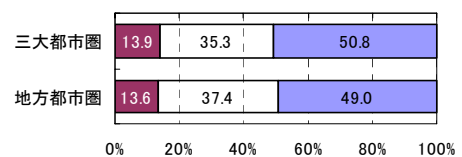
【鉄道やバス】



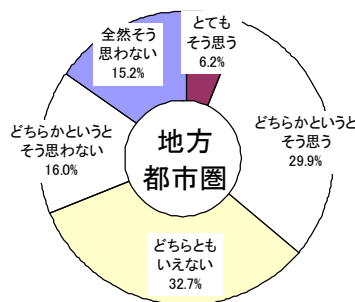
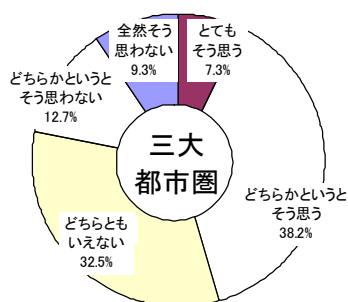
【自転車】



【徒歩】



自動車での移動を控えてみようと思うか



5. は 62 都市の集計

(平成 17 年の都市交通に関する意識調査からの集計結果)

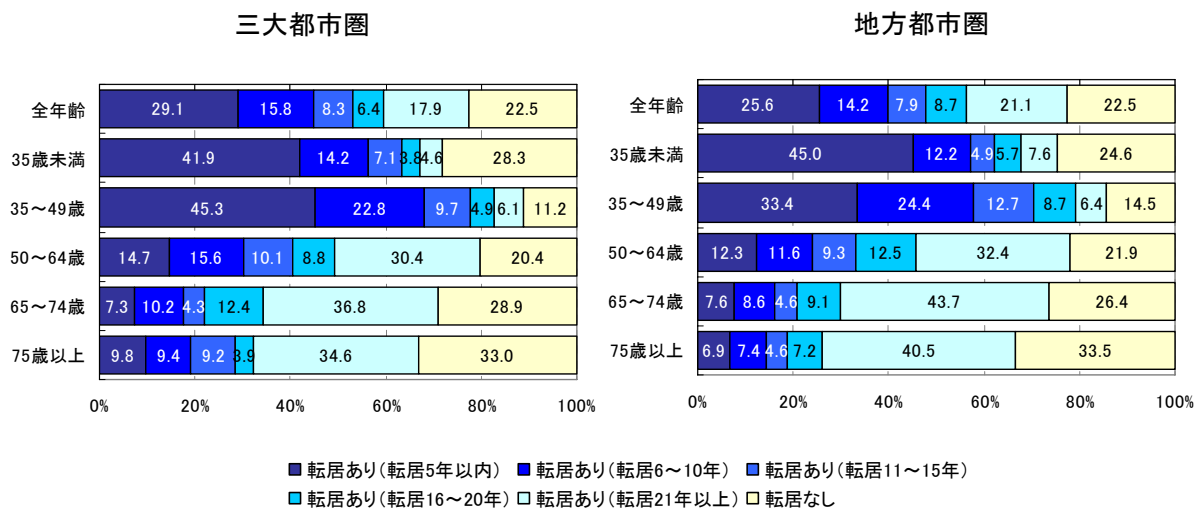
5. 居住地選択

[1] 居住地選択と交通特性の分析

最近 15 年以内に 5 割程度の人が転居しています。75 歳以上の人でも 15 年以内に 25%程度の人、転居しています。

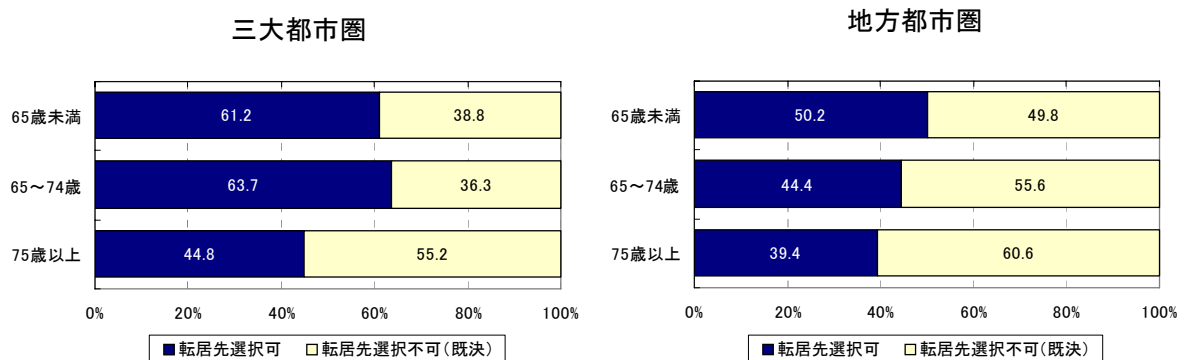
- 75 歳以上でも全体の 4 分の 1 の人は、15 年以内に（60 歳を超えてから）転居しています。

年齢階層別転居経過年数別人数構成比



■全国都市交通特性調査の回答者の構成比を示しています。

年齢階層別転居選択可能性別人数構成比



■全国都市交通特性調査の回答者の構成比を示しています。

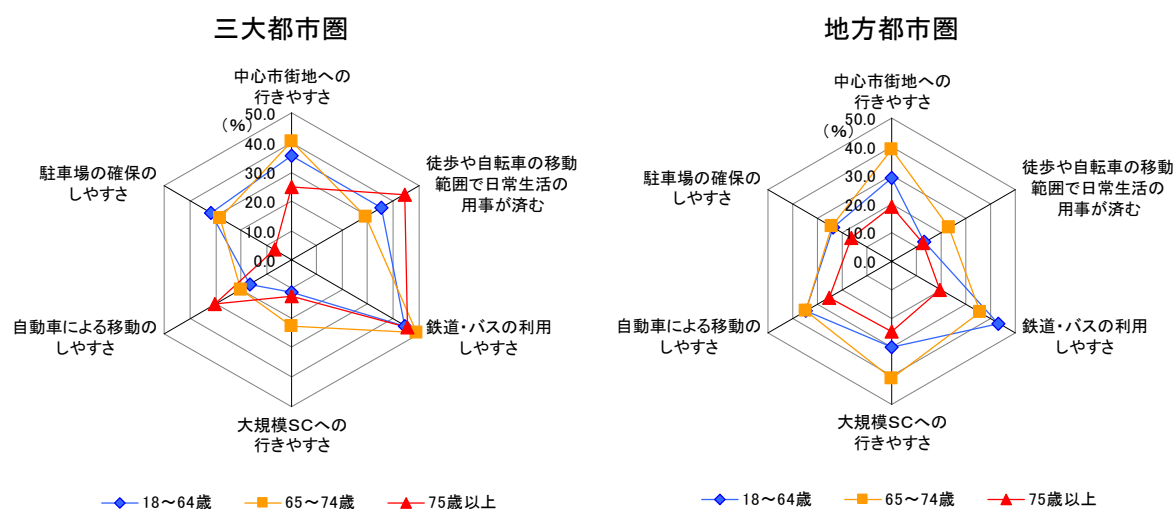
〔2〕転居先選択要因

三大都市圏の75歳以上の人は、転居地の選択要因として「徒歩や自転車の移動範囲で日常生活の用事が済む」と「鉄道・バスの利用しやすさ」を考慮した割合が他の要因に比べて高くなっています。

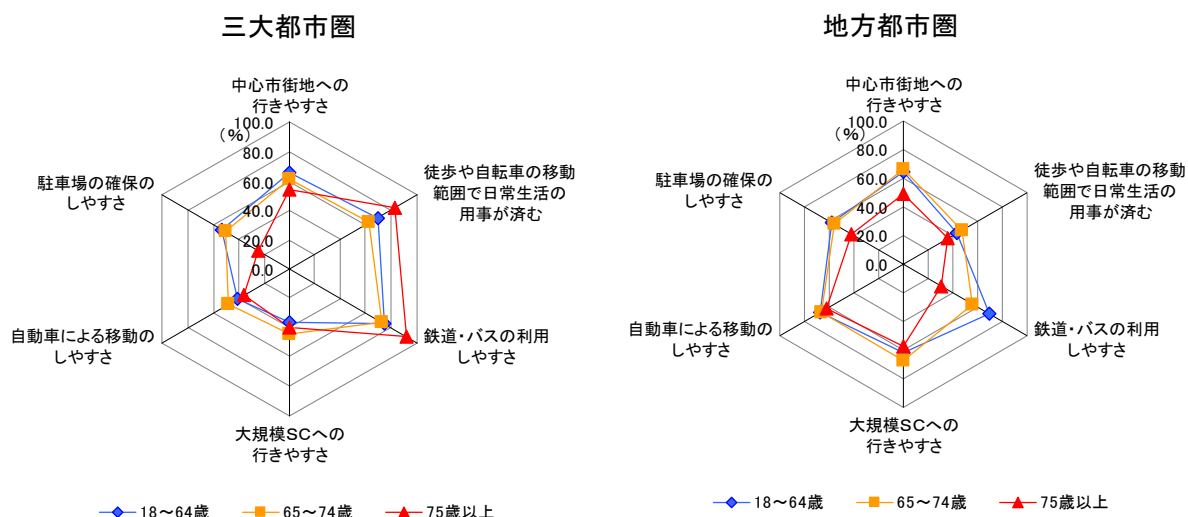
- 転居先の選択要因をみると、三大都市圏では75歳以上の人のうち、8割以上が「徒歩や自転車の移動範囲で日常生活の用事が済む」と「鉄道・バスの利用しやすさ」を考慮しています。
- 地方都市圏の75歳以上の人の転居先の選択要因をみると、6割以上が「自動車による移動のしやすさ」と「大規模SCへの行きやすさ」を考慮しています。

年齢階層別転居先選択要因

「よく考慮した」



「よく考慮した」 + 「少し考慮した」



※回答形式は、各転居要因について「全く考慮していない」、「あまり考慮していない」、「どちらでもない」、「少し考慮した」、「よく考慮した」の中から選択。

秘 都市調査・世界地図

1 あなたの世帯のお住まいについて教えてください。

2 記入例を参考に、
あなたの世帯の方
全員について答え
てください。

※いちばん左の欄の番号が、世帯の方それぞれの個人番号となりますので、個人票に個人番号を記入する場合はこの番号で答えて下さい。

3 世帯で所有、または通常使用している自動車や自転車などの台数を答えて下さい。

※会社の車で、通しで、帰って使用する。会社を走る車。

市区町村	調査区	小分	世帯	人数

1

■ 記入についてはお願い

- 黒の筆記用具で、世帯の代表者（世帯主）が記入して下さい。
- 回答は、 の部分（回答欄）に記入して下さい。
- 回答欄に番号がある場合は、該当する番号を○で囲んで下さい。

この調査は、総務省の承認を得た統計調査です。	この調査は、交通計画や、まづぐりを検討するための基礎資料を得ることを目的としています。
承認番号：26218 承認期限：平成18年9月2日から平成18年3月31日まで	調査票に記入された内容は、この目的以外には使用しません。

住居の種類 1 持ち家 2 賃貸住宅 (社宅、公務員住宅、独居寮などを含む)	住居の建て方 1 一戸建 2 集合住宅 (長屋建、テラスハウスを含む)
---	--

記入例	世帯主との続柄	性別	年齢	職業	就業形態	保有運転免許	① 普通または大型自動車 ② 自動二輪車	③ 原動機付自転車のみ ④ 持っていない	① ほぼ自分専用の自動車がある ② 家族共有の自動車がある ③ ない
個人番号 (世帯主)	世帯主との続柄 [2]番	性別 ① 男 ② 女	年齢 満 [36] 歳	職業 職業を第2から 選んで③から選んで 記入して下さい	就業形態 職業をお持ちの方 は第3から選んで 記入して下さい	保有運転免許 保有している運転免許の番号をすべて○で囲んで下さい	① 普通または大型自動車 ② 自動二輪車	③ 原動機付自転車のみ ④ 持っていない	① ほぼ自分専用の自動車がある ② 家族共有の自動車がある ③ ない
1 (世帯主)	1 番	① 男 ② 女	満 [] 歳	[] 番	[] 番		① 普通または大型自動車 ② 自動二輪車	③ 原動機付自転車のみ ④ 持っていない	① ほぼ自分専用の自動車がある ② 家族共有の自動車がある ③ ない
2	[] 番	① 男 ② 女	満 [] 歳	[] 番	[] 番		① 普通または大型自動車 ② 自動二輪車	③ 原動機付自転車のみ ④ 持っていない	① ほぼ自分専用の自動車がある ② 家族共有の自動車がある ③ ない
3	[] 番	① 男 ② 女	満 [] 歳	[] 番	[] 番		① 普通または大型自動車 ② 自動二輪車	③ 原動機付自転車のみ ④ 持っていない	① ほぼ自分専用の自動車がある ② 家族共有の自動車がある ③ ない
4	[] 番	① 男 ② 女	満 [] 歳	[] 番	[] 番		① 普通または大型自動車 ② 自動二輪車	③ 原動機付自転車のみ ④ 持っていない	① ほぼ自分専用の自動車がある ② 家族共有の自動車がある ③ ない
5	[] 番	① 男 ② 女	満 [] 歳	[] 番	[] 番		① 普通または大型自動車 ② 自動二輪車	③ 原動機付自転車のみ ④ 持っていない	① ほぼ自分専用の自動車がある ② 家族共有の自動車がある ③ ない
6	[] 番	① 男 ② 女	満 [] 歳	[] 番	[] 番		① 普通または大型自動車 ② 自動二輪車	③ 原動機付自転車のみ ④ 持っていない	① ほぼ自分専用の自動車がある ② 家族共有の自動車がある ③ ない

表1 世帯主との関係		表2 職業の分類		表3 就業形態	
1. 本人	7. 祖父・祖母	●職業をお持ちの方（パート・アルバイトを含む。ただし学生は除く）	●職業をお持ちでない方	1.	自営業主、家族従業員者
2. 妻・夫	8. いとこ	1. 農林漁業作業者	6. 保安職業従事者	2.	正招の職員、従業員等
3. 子	9. おじ・おば	2. 生産工程・労務作業者	7. 事務従事者	3.	派遣社員、契約社員等
4. 孫	10. おい・めい	3. 販売従事者	8. 専門的・技術的職業従事者	4.	パート・アルバイト
5. 兄弟・姉妹	11. その他	4. サービス職業従事者	9. 管理的職業従事者	5.	会社などの役員
		5. 運輸・通信従事者	10. その他職業		その他

自動車	軽乗用車	乗用車	軽貨物車	貨物自動車
二輪車	自動二輪車 (50ccを超える)	原動機付自転車 (50cc以下)	自転車	

参考：意識調査票 A票 おもて

市区町村	調査区	区分	世帯

(8) 自転車や徒歩に関連する施策のうち、優先的に実施すべき施策は何ですか。(当てはまるもの2つ以内に○)

1. 幅の広い歩道の整備 2. 歩行者と自転車の通行の分離 3. 駅や目的地周辺の駐輪場整備
4. 電柱の地中化 5. 車いす用経路の情報提供 6. 生活道路の整備

近年、人間のさまざまな活動により、二酸化炭素等の温室効果ガスの濃度が増大し、気温が上昇する地球温暖化の問題が指摘されています。このことについて以下の問いにお答え下さい。

問4

(1) 環境と自動車に関するあなたの考えをうかがいます。①～③にお答え下さい。

①一人ひとりが環境に配慮することは必要だと思いますか。

1. 全然そう 2. どちらかという 3. どちらとも 4. どちらかという 5. とても
思わない そう思わない いえない そう思う

②自動車の移動は環境に悪い影響を及ぼすと思いますか。

1. 全然そう 2. どちらかという 3. どちらとも 4. どちらかという 5. とても
思わない そう思わない いえない そう思う

③自動車での移動をできれば控えた方がよいと思いますか。

1. 全然そう 2. どちらかという 3. どちらとも 4. どちらかという 5. とても
思わない そう思わない いえない そう思う

(2) (3)は、自動車を利用している方にかかいます。
自動車を全く使っていない方は、裏面 問5 にお進み下さい。

(2) 自動車での移動についてどのようにお考えですか。①～③にお答え下さい。

①自動車での移動を今より減らすことは可能ですか。

1. 不可能 2. どちらかという 3. どちらとも 4. どちらかという 5. 可能
だと思 不可能だと思 いえない 可能だと思

②自動車の利用を減らすとしたら、自動車の代わりに何を使うと思いますか。(それぞれについてお答え下さい。)

自動車の代わりに 「鉄道やバス」で移動するように・・・	1. ならない	2. 少しなる	3. なる
自動車の代わりに 「自転車」で移動するように・・・	1. ならない	2. 少しなる	3. なる
自動車の代わりに 「徒歩」で移動するように・・・	1. ならない	2. 少しなる	3. なる
③自動車での移動をできるだけ控えてみようと思いますか。			
1. 全然そう 2. どちらかという 3. どちらとも 4. どちらかという 5. とても 思わない そう思わない いえない そう思う			
③ 多少価格が高くて燃費が良く排気ガスの少ない自動車を購入して使用しますか。			
1. 全然そう 2. どちらかという 3. どちらとも 4. どちらかという 5. とても 思わない そう思わない いえない そう思う			

都市交通に関する意識調査

■ 記入についてお願い

- ・黒の筆記用具で記入して下さい。
- ・回答は、[] の部分 (回答欄) に記入して下さい。
- ・回答欄に番号がある場合は、該当する番号を○で囲んで下さい。

問1 世帯票でのあなたの個人番号を記入して下さい。[] 番
一人ひとりが記入して下さい。

問2 交通機関の利用状況についてお聞きします。

(1) 以下の交通機関をどのくらい利用していますか。

【記入例】月に3日程度の場合	①鉄道は	②路線バスは
1. 年に ② 月に 3. 週に 3. 週に 日程度	1. 年に 2. 月に 3. 週に 日程度	1. 年に 2. 月に 3. 週に 日程度
③自動車は	④自転車は	⑤徒歩だけの外出は
1. 年に 2. 月に 3. 週に 日程度	1. 年に 2. 月に 3. 週に 日程度	1. 年に 2. 月に 3. 週に 日程度

(2) 通勤・通学されている方にお聞きします。
通勤・通学時に利用している交通手段は何ですか。主な交通機関1つに○をして下さい。

1. 鉄道	2. 路線バス	3. 自動車	4. 自転車	5. 徒歩	6. その他
-------	---------	--------	--------	-------	--------

問3 交通機関に対して不便と思うことや優先的に実施すべき施策についてお聞きします。

(1) 鉄道の利用時に不便と思うことはありますか。(当てはまるもの2つ以内に○)

1. 運行本数が少ない	2. 車内が混雑している	3. 駅に段差が多い
4. 乗り換えが不便	5. 駅の案内が不十分	6. 車用の送迎スペースがない

(2) 鉄道に関する施策のうち、優先的に実施すべき施策は何ですか。(当てはまるもの2つ以内に○)

1. 運行本数を増やす	2. 駅にエレベーター等の設置	3. 乗り換えの移動距離を減らす
4. 乗り換え時の料金割引	5. 駅のサインや案内の充実	6. 駅前広場の整備

(3) 路線バスの利用時に不便と思うことはありますか。(当てはまるもの2つ以内に○)

1. 運行本数が少ない	2. 時刻通りに運行していない	3. 終電が早い
4. 車内が混雑する	5. 乗降時に段差がある	6. バス停に屋根やベンチがない

(4) 路線バスに関する施策のうち、優先的に実施すべき施策は何ですか。(当てはまるもの2つ以内に○)

1. 運行本数を増やす	2. バス専用レーン・バス優先信号	3. 運行情報の提供
4. 運行時間の延長	5. 低床バスの導入	6. バス停施設の改善

(5) 自動車の利用時に不便と思うことはありますか。(当てはまるもの2つ以内に○)

1. 道路が混雑する	2. 自転車・歩行者が危険	3. 道幅が狭くて走りづらい
4. 目的地周辺に駐車場がない	5. 案内標識が分かりにくい	6. 所要時間がわからない

(6) 自動車に関する施策のうち優先的に実施すべき施策は何ですか。(当てはまるもの2つ以内に○)

1. 市街地を迂回するバイパス	2. 車線数を増やす・拡幅する	3. 道路と鉄道の立体交差化
4. 安全な生活道路の整備	5. 駐車場の整備	6. 混雑・所要時間情報の提供

(7) 自転車や徒歩での外出時に不便と思うことはありますか。(当てはまるもの2つ以内に○)

1. 自動車が危険	2. 歩行者とぶつかって危険	3. 電柱や看板が多い
4. 段差が多い	5. 自転車とぶつかって危険	6. 駐輪場がない

問5 国や自治体が税金を投入して、鉄道や路線バスなどの公共交通サービスの整備・維持をすべきという考え方があります。このような考え方に對しあなたはどのように思いますか。
(あなたの考えに近いもの1つに○)

1. 採算がとれない路線は廃止になってもやむを得ない
2. 税金を投入して、現状の公共交通サービスを維持していくべきである
3. 税金を投入して、鉄道・バスなどの新しい路線を整備したり、運行頻度を増やしたりしていくべきである

問6 日常の外出行についてお聞きします。

(1) 日常生活で交通が不便な理由から外出を控えていることはありますか。

1. 控えている 外出を控えている理由は何ですか。(当てはまるもの2つ以内)○
 2. 控えていない
1. 公共交通の乗降時に段差が多い
 2. 街なかの歩道に段差が多い
 3. 目的地まで直接行ける公共交通機関がない
 4. 公共交通機関の運行本数が少ない
 5. 家族の都合に合わせなければならない
 6. その他

(2) 外出するときに次のようなものを利用しますか。

1. 杖 (つえ)
2. 手押しカート
3. シニアカー
4. 車いす
5. 特に利用しない

(3) 徒歩や(2)の手段で休まずに移動できる距離はどの程度ですか。

1. 100m程度まで
2. 300m程度まで
3. 500m程度まで
4. 1km程度まで
5. 1.5km程度まで
6. 1.5km以上 【具体的には km程度】

(4) 自転車移動してもよいと思う距離はどの程度ですか。

1. 自転車は利用しない
2. 500m程度まで
3. 1km程度まで
4. 2km程度まで
5. 3km程度まで
6. 3km以上 【具体的には km程度】

問7 自動車の運転免許の保有と自動車運転の状況についてお聞きします。

現在自動車運転免許をお持ちですか。

1. 持っていて運転している 問7-1へ
2. 持っていないが過去に持っていた 問7-2へ
3. 現在は持っていないが過去に持っていた 問7-3へ
4. 一度も持ったことがない これで終了です

問7-1 自動車運転免許をお持ちで運転している方にうかがいます。

(1) 今後も自動車の運転を継続しますか。

1. 運転を継続しない 3. 運転を継続する
2. どちらともいえない (3)にお進み下さい
- (2)にお進み下さい
- (3)にお進み下さい

(2) (1)で「1. 運転を継続しない」とお答えの方にうかがいます。

自動車の運転を継続しない理由は何ですか。(当てはまるもの2つ以内)○

1. 自動車を利用するの必要がなくなったから
2. 公共交通が便利だから
3. 自動車の維持費用が高いから
4. 自分の運転に自信がなくなったから
- (3) 次の更新時期に運転免許を更新しますか。

1. 更新する
2. どちらともいえない
3. 更新しない

問7-2 自動車の運転免許を持っているが、ほとんど運転していない方にうかがいます。

(1) 運転しなくなったのはいつ頃ですか。 約 年前 (1年未満の方は「0年前」とご記入下さい)

(2) 運転しなくなった理由は何ですか。(当てはまるもの2つ以内)○

1. 自動車を利用するの必要がなくなったから
2. 公共交通が便利だから
3. 自動車の維持費用が高いから
4. 自分の運転に自信がなくなったから
- (3) 運転しなくなったから移動はどのように変化しましたか。(当てはまるもの2つ以内)○

1. 鉄道やバスなどの公共交通機関を利用している
2. 徒歩や自転車で行ける範囲で移動している
3. 家族に自動車を送迎してもらうようになった
4. 外出することが減った
- (4) 次の更新時期に運転免許を更新しますか。

1. 更新する
2. どちらともいえない
3. 更新しない

問7-3 過去に自動車運転免許を持っていて、現在持っていない方にうかがいます。

(1) 免許を持たなくなったのはいつ頃ですか。 約 年前 (1年未満の方は「0年前」とご記入下さい)

(2) 免許を持たなくなった理由は何ですか。(当てはまるもの2つ以内)○

1. 自動車を利用するの必要がなくなったから
2. 公共交通が便利だから
3. 自動車の維持費用が高いから
4. 自分の運転に自信がなくなったから
5. 免許取り消しになったから
- (3) 免許を持たなくなったから移動はどのように変化しましたか。(当てはまるもの2つ以内)○

1. 鉄道やバスなどの公共交通機関を利用している
2. 徒歩や自転車で行ける範囲で移動している
3. 家族に自動車を送迎してもらうようになった
4. 外出することが減った

ご協力ありがとうございました

参考：意識調査票 B票 おもて

都市交通に関する意識調査

- 記入についてのお願い
- ・ 黒の筆記用具で記入して下さい。
 - ・ 回答は、**1**～**5**の範囲に記入して下さい。
 - ・ 回答欄に番号がある場合は、該当する番号を○で囲んで下さい。

問1 世帯票でのあなたの個人番号を記入して下さい。[] 番

18歳以上（平成17年10月1日現在）の方
一人ひとりが記入して下さい。

問2 交通機関の利用状況についてお聞きします。

(1) 以下の交通機関をどのくらい利用していますか。

【記入例】月に3日程度の場合	①鉄道は	②路線バスは
1. 年に1回	1. 年に2回	1. 年に2回
2. 月に3回	2. 月に3回	2. 月に3回
3. 月に3回	3. 月に3回	3. 月に3回
4. 月に3回	4. 月に3回	4. 月に3回
5. 月に3回	5. 月に3回	5. 月に3回
6. 月に3回	6. 月に3回	6. 月に3回

(2) 通勤・通学されている方にお聞きします。
通勤・通学時に利用している交通手段は何ですか。主な交通機関1つに○をして下さい。

1. 鉄道	2. 路線バス	3. 自動車	4. 自転車	5. 徒歩	6. その他
-------	---------	--------	--------	-------	--------

問3 転居の経緯についてお聞きします。

(1) 転居の経緯はありますか。

1. ある	2. 現在の場所から引っ越す	3. 転居先は	4. 転居先は	5. 転居先は	6. 転居先は
1. ある	2. 現在の場所から引っ越す	3. 転居先は	4. 転居先は	5. 転居先は	6. 転居先は

(2) 現在の居住地の前にお住まいの場所はどこですか。

都道府県	市	区	町	丁目
------	---	---	---	----

(3) (2)の場所では、以下の交通機関をどのくらい利用していましたか。

【記入例】月に3日程度の場合	①鉄道は	②路線バスは
1. 年に1回	1. 年に2回	1. 年に2回
2. 月に3回	2. 月に3回	2. 月に3回
3. 月に3回	3. 月に3回	3. 月に3回
4. 月に3回	4. 月に3回	4. 月に3回
5. 月に3回	5. 月に3回	5. 月に3回
6. 月に3回	6. 月に3回	6. 月に3回

(4) (2)の場所での住居の種類、建て方は何ですか。

①住居の種類は	②建て方は
1. 持ち家	1. 一戸建て
2. 賃貸住宅	2. 集合住宅

(5) 転居する際に、複数の転居先を比べて、お選びになりましたか。あるいは、自宅への入居、家族の家への同居、相続した家への居住などで、転居先は決まっていたらいいと思いますか。

1. 複数の転居先を比べて選んだ	2. 転居先は決まっていた
1. 複数の転居先を比べて選んだ	2. 転居先は決まっていた

(6) 現在のお住まいを選ぶ際に、以下の①～⑥をどの程度考慮しましたか。

①中心市街地への行きやすさ	④鉄道・バスの利用しやすさ	⑤徒歩や自転車の移動距離で日常生活の利便性が保たれる	⑥自動車による移動のしやすさ
1. 非常に便利	1. 非常に便利	1. 非常に便利	1. 非常に便利
2. かなり便利	2. かなり便利	2. かなり便利	2. かなり便利
3. 普通	3. 普通	3. 普通	3. 普通
4. 不便	4. 不便	4. 不便	4. 不便
5. 非常に不便	5. 非常に不便	5. 非常に不便	5. 非常に不便

問4 将来の転居についてお聞きします。

(1) もし、次に転居するならば、以下の①～⑥をどの程度考慮すると思いますか。

①中心市街地への行きやすさ	④鉄道・バスの利用しやすさ	⑤徒歩や自転車の移動距離で日常生活の利便性が保たれる	⑥自動車による移動のしやすさ
1. 非常に便利	1. 非常に便利	1. 非常に便利	1. 非常に便利
2. かなり便利	2. かなり便利	2. かなり便利	2. かなり便利
3. 普通	3. 普通	3. 普通	3. 普通
4. 不便	4. 不便	4. 不便	4. 不便
5. 非常に不便	5. 非常に不便	5. 非常に不便	5. 非常に不便

(2) 現在のお住まいから転居する予定はありますか。

1. 転居する予定がある	2. 転居を考えたことはあるが、具体的なことは考えていない	3. 転居を考えたことはない
--------------	-------------------------------	----------------

問5 中心市街地・郊外ショッピングセンターに関する意識についてお聞きします。

※中心市街地とは、古くから商店が集積し、市を代表する地域のことで。

(1) あなたがお住まいの市の中心市街地はどこですか。

1. ある	2. 中心市街地	3. 中心市街地	4. 中心市街地	5. 中心市街地	6. 中心市街地	7. 中心市街地
-------	----------	----------	----------	----------	----------	----------

(2) 郊外ショッピングセンターに出かける頻度はどの程度ですか。

①中心市街地	②郊外ショッピングセンター
1. 月に2回	1. 月に2回
2. 月に2回	2. 月に2回
3. 月に2回	3. 月に2回
4. 月に2回	4. 月に2回
5. 月に2回	5. 月に2回
6. 月に2回	6. 月に2回

(3) (1)の中心市街地、(2)の郊外ショッピングセンターに出かける際について以下に答え下さい。

①中心市街地	②郊外ショッピングセンター
1. 月に2回	1. 月に2回
2. 月に2回	2. 月に2回
3. 月に2回	3. 月に2回
4. 月に2回	4. 月に2回
5. 月に2回	5. 月に2回
6. 月に2回	6. 月に2回

(4) 中心市街地、郊外ショッピングセンターに買物で出かける頻度はどの程度ですか。

①中心市街地	②郊外ショッピングセンター
1. 月に2回	1. 月に2回
2. 月に2回	2. 月に2回
3. 月に2回	3. 月に2回
4. 月に2回	4. 月に2回
5. 月に2回	5. 月に2回
6. 月に2回	6. 月に2回

(5) 買物以外の目的で中心市街地に出かけることはありますか。また、その目的は何ですか。

(「買物のついでに出かける目的」「買物とは別に買物で出かける目的」を含めてお答え下さい。)

1. ある	2. ほとんどない	3. 通勤	4. 通学	5. 娯楽	6. 食事	7. その他
-------	-----------	-------	-------	-------	-------	--------

①公共交通機関(鉄道・バス)で行きやすい	②自動車で行きやすい	③歩いて美しい	④歴史・文化的景観がある	⑤用事が一度に済む	⑥飲食店や娯楽施設が多い	⑦値段が安い	⑧高級品や専門的品物が買える	⑨イベントや娯楽がある	⑩店の人とのコミュニケーションが楽しい
1. 非常に便利	1. 非常に便利	1. 非常に便利	1. 非常に便利	1. 非常に便利	1. 非常に便利	1. 非常に便利	1. 非常に便利	1. 非常に便利	1. 非常に便利
2. かなり便利	2. かなり便利	2. かなり便利	2. かなり便利	2. かなり便利	2. かなり便利	2. かなり便利	2. かなり便利	2. かなり便利	2. かなり便利
3. 普通	3. 普通	3. 普通	3. 普通	3. 普通	3. 普通	3. 普通	3. 普通	3. 普通	3. 普通
4. 不便	4. 不便	4. 不便	4. 不便	4. 不便	4. 不便	4. 不便	4. 不便	4. 不便	4. 不便
5. 非常に不便	5. 非常に不便	5. 非常に不便	5. 非常に不便	5. 非常に不便	5. 非常に不便	5. 非常に不便	5. 非常に不便	5. 非常に不便	5. 非常に不便

問6 中心市街地の活性化についてお聞きします。

- (1) 最近、中心市街地の活力が低下している都市が多く、活性化を図るべきであるという意見があります。あなたがお住まいの市における中心市街地の活性化についてどのように思いますか。

1. 中心市街地を活性化させるべきである 2. 中心市街地を活性化させるべきとは思わない

- (2) あなたがお住まいの市において、中心市街地を活性化させるために、どのようなことが重要だと思いますか。(あなたのお考えに近いもの1つに○)

1. 道路の拡幅・整備や駐車場整備を行って、自動車で中心市街地に行きやすくする
2. 歩行空間の整備を行って、中心市街地を歩きやすくする
3. 鉄道・バスなどの公共交通機関の利便性を高め、公共交通で中心市街地に行きやすくする
4. 中心市街地活性化のための対策は特に必要ない

問7 通信販売や宅配サービス、インターネットを利用した買物（ネットショッピング）についてお聞きします。

- (1) 通信販売や宅配サービスで品物を購入したことがありますか。

①テレショッピングやカタログショッピング
1. ある 2. ない
どの程度利用していますか。 1. 年に1回程度 2. 年に2回程度 3. 年に3回程度 4. 年に4回程度 5. 年に5回程度 6. 年に6回程度 7. 年に7回程度 8. 年に8回程度 9. 年に9回程度 10. 年に10回程度

- (2) ネットショッピングの利用についてお聞きします。

①ネットショッピングのサイトを閲覧したことがありますか。 ②ネットショッピングで品物を購入したことはありますか。
1. ある 2. ない 1. ある 2. ない
どの程度利用していますか。 どの程度利用していますか。 1. 年に1回程度 2. 年に2回程度 3. 年に3回程度 4. 年に4回程度 5. 年に5回程度 6. 年に6回程度 7. 年に7回程度 8. 年に8回程度 9. 年に9回程度 10. 年に10回程度

- (3) 通信販売や宅配サービス、ネットショッピングでの購入や閲覧により、日常の買物はどのように変化しましたか。

1. このようなサービスを利用して、日常の買物に出かける回数が増えた
2. このようなサービスを利用して、日常の買物に出かける回数は減った
3. 変化はなかった

問8 日常の外出についてお聞きします。

- (1) 日常の生活で交通が不便などの理由から外出を控えていることはありますか。

1. 控えている 2. 控えていない
外出を控えている理由は何ですか。（当てはまるもの2つ以内）
1. 公共交通機関の乗降時に段差が多い 2. 街なかの歩道に段差が多い
3. 目的地まで直接行ける公共交通機関がない 4. 公共交通機関の運行本数が少ない
5. 家族の都合に合わせて行かない 6. その他

- (2) 外出するときに次のようなものを利用しますか。

1. 杖（つえ） 2. 車いす 3. シニアカー 4. 車いす 5. 特に関心しない

- (3) 徒歩や②の手段で休まずに移動できる距離はどの程度ですか。

1. 100m程度まで 2. 300m程度まで 3. 500m程度まで 4. 1km程度まで 5. 1.5km程度まで
6. 1.5km以上 7. 2km以上 8. 2.5km以上 9. 3km以上 10. 3.5km以上 11. 4km以上 12. 4.5km以上 13. 5km以上 14. 5.5km以上 15. 6km以上 16. 6.5km以上 17. 7km以上 18. 7.5km以上 19. 8km以上 20. 8.5km以上 21. 9km以上 22. 9.5km以上 23. 10km以上

- (4) 自転車移動してもよいと思う距離はどの程度ですか。

1. 自転車は利用しない 2. 500m程度まで 3. 1km程度まで 4. 2km程度まで 5. 3km程度まで
6. 3km以上 7. 4km以上 8. 5km以上 9. 6km以上 10. 7km以上 11. 8km以上 12. 9km以上 13. 10km以上 14. 11km以上 15. 12km以上 16. 13km以上 17. 14km以上 18. 15km以上 19. 16km以上 20. 17km以上 21. 18km以上 22. 19km以上 23. 20km以上 24. 21km以上 25. 22km以上 26. 23km以上 27. 24km以上 28. 25km以上 29. 26km以上 30. 27km以上 31. 28km以上 32. 29km以上 33. 30km以上 34. 31km以上 35. 32km以上 36. 33km以上 37. 34km以上 38. 35km以上 39. 36km以上 40. 37km以上 41. 38km以上 42. 39km以上 43. 40km以上 44. 41km以上 45. 42km以上 46. 43km以上 47. 44km以上 48. 45km以上 49. 46km以上 50. 47km以上 51. 48km以上 52. 49km以上 53. 50km以上 54. 51km以上 55. 52km以上 56. 53km以上 57. 54km以上 58. 55km以上 59. 56km以上 60. 57km以上 61. 58km以上 62. 59km以上 63. 60km以上 64. 61km以上 65. 62km以上 66. 63km以上 67. 64km以上 68. 65km以上 69. 66km以上 70. 67km以上 71. 68km以上 72. 69km以上 73. 70km以上 74. 71km以上 75. 72km以上 76. 73km以上 77. 74km以上 78. 75km以上 79. 76km以上 80. 77km以上 81. 78km以上 82. 79km以上 83. 80km以上 84. 81km以上 85. 82km以上 86. 83km以上 87. 84km以上 88. 85km以上 89. 86km以上 90. 87km以上 91. 88km以上 92. 89km以上 93. 90km以上 94. 91km以上 95. 92km以上 96. 93km以上 97. 94km以上 98. 95km以上 99. 96km以上 100. 97km以上 101. 98km以上 102. 99km以上 103. 100km以上

問9 自動車の運転免許の保有と自動車運転の状況についてお聞きします。

- 現在自動車運転免許をお持ちですか。

1. 持っている 2. 持っているがほとんど運転していない 3. 現在は持っているが過去に持っていた 4. 一度も持ったことがない
問9-1へ 問9-2へ 問9-3へ これで終了です

問9-1 自動車運転免許をお持ちで運転している方にお聞きします。

- (1) 今後も自動車の運転を継続しますか。

1. 運転を継続しない 2. どちらともいえない 3. 運転を継続する
(2) 運転を継続しない理由は何ですか。（当てはまるもの2つ以内）
(3) 運転を継続する理由は何ですか。（当てはまるもの2つ以内）

- (2) (1)で「1. 運転を継続しない」とお答えの方にうかがいます。

自動車の運転を継続しない理由は何ですか。（当てはまるもの2つ以内）

1. 自動車を利用する必要があるから 2. 公共交通が便利だから 3. 自動車の維持費用が高いから 4. 自分の運転に自信がなくなったから

- (3) 次の更新時期に運転免許を更新しますか。

1. 更新する 2. どちらともいえない 3. 更新しない

問9-2 自動車の運転免許を持っているが、ほとんど運転していない方にうかがいます。

- (1) 運転しなくなったのはいつ頃ですか。 約 [] 年前（1年未満の方は「0年前」とご記入下さい。）

- (2) 運転しなくなった理由は何ですか。（当てはまるもの2つ以内）

1. 自動車を利用する必要があるから 2. 公共交通が便利だから 3. 自動車の維持費用が高いから 4. 自分の運転に自信がなくなったから

- (3) 運転しなくなったから移動はどのように変化しましたか。（当てはまるもの2つ以内）

1. 鉄道やバスなどの公共交通機関を利用している 2. 徒歩や自転車で行ける範囲で移動している 3. 家族に自動車を送迎してもらうようになった 4. 外出することが減った

- (4) 次の更新時期に運転免許を更新しますか。

1. 更新する 2. どちらともいえない 3. 更新しない

問9-3 過去に自動車運転免許を持っていて、現在持っていない方にうかがいます。

- (1) 免許を失ったのはいつ頃ですか。 約 [] 年前（1年未満の方は「0年前」とご記入下さい。）

- (2) 免許を失った理由は何ですか。（当てはまるもの2つ以内）

1. 自動車を利用する必要があるから 2. 公共交通が便利だから 3. 自動車の維持費用が高いから 4. 自分の運転に自信がなくなったから 5. 免許取り消しになったから

- (3) 免許を失ったから移動はどのように変化しましたか。（当てはまるもの2つ以内）

1. 鉄道やバスなどの公共交通機関を利用している 2. 徒歩や自転車で行ける範囲で移動している 3. 家族に自動車を送迎してもらうようになった 4. 外出することが減った

ご協力ありがとうございました

お問い合わせ先

国土交通省 都市・地域整備局 都市計画課 都市交通調査室

TEL 03-5253-8111（代表）

URL <http://www.mlit.go.jp/crd/tosiko/>